

成田市総合計画 2016→2027

NARITA みらいプラン

《第1期基本計画》
実施計画



進捗状況報告書

平成30（2018）年度実績

令和元（2019）年 11 月

総合計画「NARITA みらいプラン」《第1期基本計画》 第3次実施計画進捗状況（平成30年度実績）の概要

平成28（2016）年度にスタートした成田市総合計画「NARITA みらいプラン」は、まちの将来像を描く「基本構想」、将来像を実現するための施策を示す「基本計画」、そして施策を実現する「実施計画」の三層構造で構成し、「基本構想」の計画期間は12年間とし、「基本計画」の計画期間は第1期・第2期・第3期に分割し、それぞれを4年間とすることで、より柔軟性をもった、実効性のある基本計画としています。

また、「実施計画」は、計画期間を3年間とし、計画の実行性を高めるため、最新の国・県の動向や本市の財政状況、事業の進捗状況などを勘案し、毎年度ローリング作業（計画の見直し）を行い、予算編成作業の指針とするとともに、より実践的な計画として、適切な進行管理を実施していくこととしています。

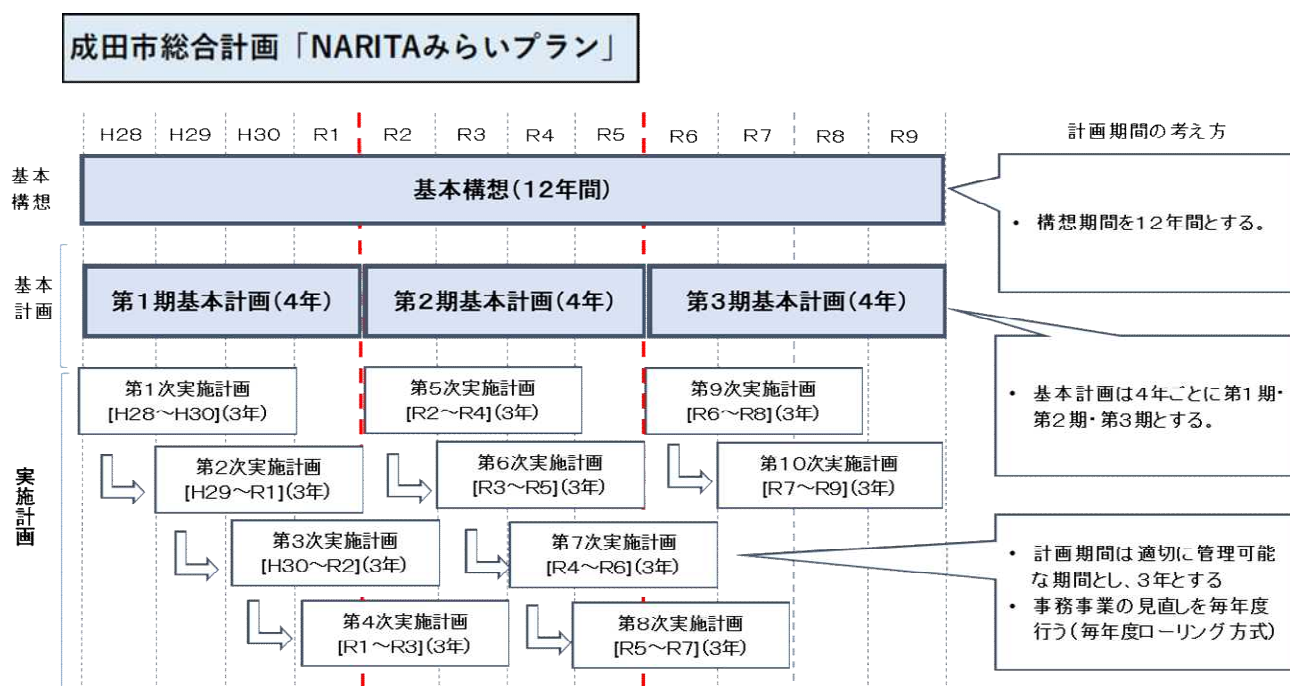
平成30（2018）年度は、第3次実施計画（平成30（2018）年度～令和2（2020）年度）に基づき事務事業を執行し、当初計画事業費（人件費及び公債費を除いた計画事業費）448億1,052万3千円に対し、実施事業費は456億663万2千円となり、単年度実施率101.8%となりました。

施策体系別では、第1節「安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）」では、新清掃工場関連付帯施設整備事業がずれ込んだことなどにより、第2節「健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）」では、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰出金などが当初計画を下回ったことにより、第3節「地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）」では、学校給食施設整備事業及び運動公園等整備事業の当該年度の事業費が減少したことなどにより、第5節「活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）」では、新規就農者支援事業や農地集積・集約化事業、中小企業資金融資事業の事業費が計画額を下回ったことなどにより、当初計画額を下回る実施率となっています。

一方、第4節「空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）」では、ニュータウン中央線整備事業において、当該年度の事業費が増加したことなどにより、当初計画を上回る実施率となっており、第6節「市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う（自治体運営）」では、財政調整基金積立金や人件費の増加により、当初計画額を大幅に上回る実施率となっています。

今後も、「NARITA みらいプラン」で描いた将来都市像「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現を目指し、社会経済情勢の変化等にも柔軟に対応できるよう毎年度ローリング作業を行い、実践的な計画として適切な事業執行を図っていきます。

また、令和元（2019）年度は、第1期基本計画（平成28（2016）年度～令和元（2019）年度）の最終年度であることから、第1期基本計画において掲げた目標や事業の進捗状況等を踏まえ、令和2（2020）年度からの4年間の新たな基本施策や取組方針等を示した第2期基本計画を策定してまいります。



成田市総合計画「NARITAみらいプラン」《第1期基本計画》 実施計画 進捗状況総括表

(単位:千円)

基本計画	実施計画	区分	計画額				予算額	実施状況(決算額)				単年度 実施率 (B)/(A) × 100
		年度	事業費(A)	公債費	人件費	合 計	合計	事業費(B)	公債費	人件費	合 計	
第1期	第1次	H28 (2016)	48,054,328	4,551,721	9,293,951	61,900,000	61,900,000	46,854,960	4,497,325	9,633,545	60,985,830	97.5%
	第2次	H29 (2017)	49,581,646	4,712,097	9,306,257	63,600,000	60,800,000	47,148,044	4,659,883	9,774,537	61,582,464	95.1%
	第3次	H30 (2018)	44,810,523	4,954,978	9,434,499	59,200,000	59,000,000	45,606,632	4,906,075	9,932,302	60,445,009	101.8%
	第4次	R1 (2019)	44,746,920	5,167,693	9,785,387	59,700,000	60,600,000					

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。

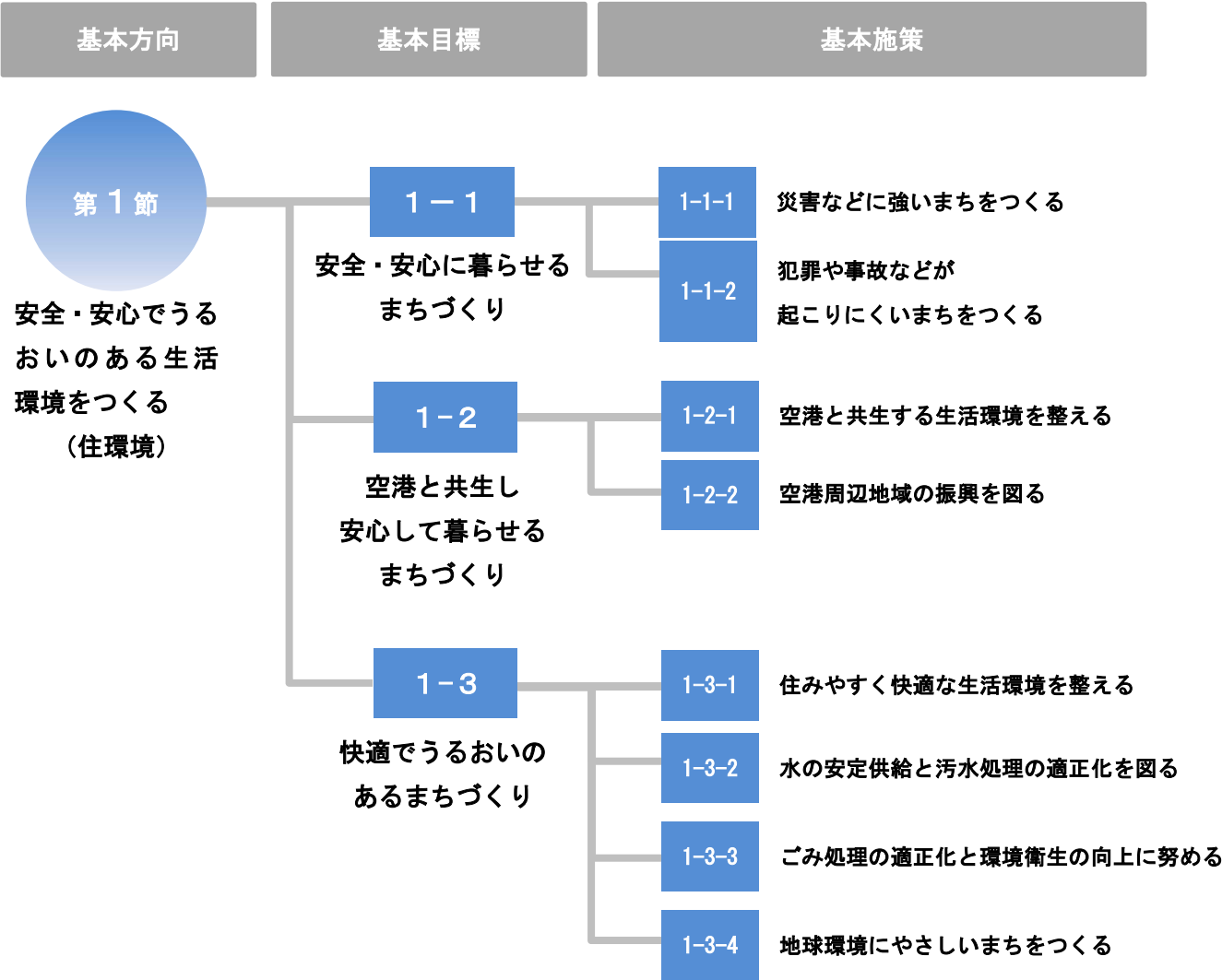
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

成田市総合計画「NARITAみらいプラン」基本目標別実施状況

(単位:円)

	第3次実施計画計上額		実施状況	単年度実施率
	H30～R2	H30 (a)	H30(b)	(b)/(a) × 100
第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)	24,367,925,000	7,778,812,000	7,195,852,109	92.5%
1-1 安全・安心に暮らせるまちづくり	3,851,472,000	1,470,106,000	1,459,366,275	99.3%
1-2 空港と共生し安心して暮らせるまちづくり	3,581,561,000	1,198,398,000	1,132,724,185	94.5%
1-3 快適でうるおいのあるまちづくり	16,934,892,000	5,110,308,000	4,603,761,649	90.1%
第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)	53,361,618,000	18,464,467,000	17,778,262,066	96.3%
2-1 安心して子どもを産み育てられるまちづくり	19,991,910,000	6,937,409,000	6,660,464,194	96.0%
2-2 やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	28,897,298,000	9,565,788,000	9,183,120,535	96.0%
2-3 健康で笑顔あふれるまちづくり	4,472,410,000	1,961,270,000	1,934,677,337	98.6%
第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)	27,635,745,000	7,673,972,000	6,567,966,690	85.6%
3-1 心豊かな人を育むまちづくり	21,464,768,000	5,160,289,000	4,761,239,516	92.3%
3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり	5,514,855,000	2,294,957,000	1,590,780,353	69.3%
3-3 国際性豊かなまちづくり	656,122,000	218,726,000	215,946,821	98.7%
第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)	10,995,953,000	4,554,327,000	4,744,981,328	104.2%
4-1 空港を生かした活気あふれるまちづくり	309,323,000	108,273,000	134,688,711	124.4%
4-2 魅力ある機能的なまちづくり	10,686,630,000	4,446,054,000	4,610,292,617	103.7%
第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)	8,226,134,000	2,723,344,000	2,713,336,577	99.6%
5-1 地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり	887,436,000	302,538,000	315,716,837	104.4%
5-2 元気な農林水産業を育むまちづくり	2,532,775,000	863,601,000	834,900,610	96.7%
5-3 商工業が活力をもたらすまちづくり	4,805,923,000	1,557,205,000	1,562,719,130	100.4%
第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)	10,766,168,000	3,615,601,000	6,606,233,571	182.7%
6-1 市民が参加する協働のまちづくり	911,901,000	482,389,000	443,846,998	92.0%
6-2 経営的な視点に立った効率的なまちづくり	9,854,267,000	3,133,212,000	6,162,386,573	196.7%
事業費合計	135,353,543,000	44,810,523,000	45,606,632,341	101.8%
公 債 費	15,333,250,000	4,954,978,000	4,906,075,012	99.0%
人 件 費	28,313,207,000	9,434,499,000	9,932,301,789	105.3%
総合計	179,000,000,000	59,200,000,000	60,445,009,142	102.1%

施策の体系



基本方向

基本目標

基本施策

第2節

健康で笑顔あふれ、
共に支え合う
社会をつくる
(保健・医療・福祉)

2-1

安心して子どもを
産み育てられる
まちづくり

2-1-1

子どもの健やかな成長を支援する

2-1-2

安定した子育てを支える基盤を整える

2-2

やさしさと思いやり
に満ちた支え合いの
まちづくり

2-2-1

高齢者の生きがいづくりを支援する

2-2-2

高齢者が安心して生活できる体制を整える

2-2-3

障がいのある人の自立した生活を支援する

2-2-4

生活の安定を確保して自立・就労を支援する

2-2-5

社会保険制度を安定的に運用する

2-3

健康で笑顔あふれる
まちづくり

2-3-1

子どもから高齢者までみんなの
健康づくりを支援する

2-3-2

地域医療体制の充実を図る

基本方向

基本目標

基本施策

第3節

地域文化を
生かし、未来を
担う心豊かな
人材を育む
(教育・文化)

3-1

心豊かな人を育む
まちづくり

3-1-1

成田の未来をつくる義務教育を推進する

3-1-2

学校・家庭・地域が一体となった
教育体制をつくる

3-1-3

幼児教育を推進する

3-1-4

青少年を健全に育成する

3-2

学び、文化を育て、
スポーツを楽しむ
まちづくり

3-2-1

市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する

3-2-2

成田の地域文化や伝統を学ぶ

3-2-3

スポーツに親しめる環境をつくる

3-3

国際性豊かな
まちづくり

3-3-1

国際理解を促進する

3-3-2

国際交流を推進する

第4節

空港の機能を最
大限に生かし、
魅力的な活気
あふれる都市を
つくる
(空港・都市基盤)

4-1

空港を生かした活
気あふれるまちづ
くり

4-1-1

空港を生かしたまちづくりを推進する

4-1-2

空港を活用し新たな成田の魅力を開発する

4-2

魅力ある機能的な
まちづくり

4-2-1

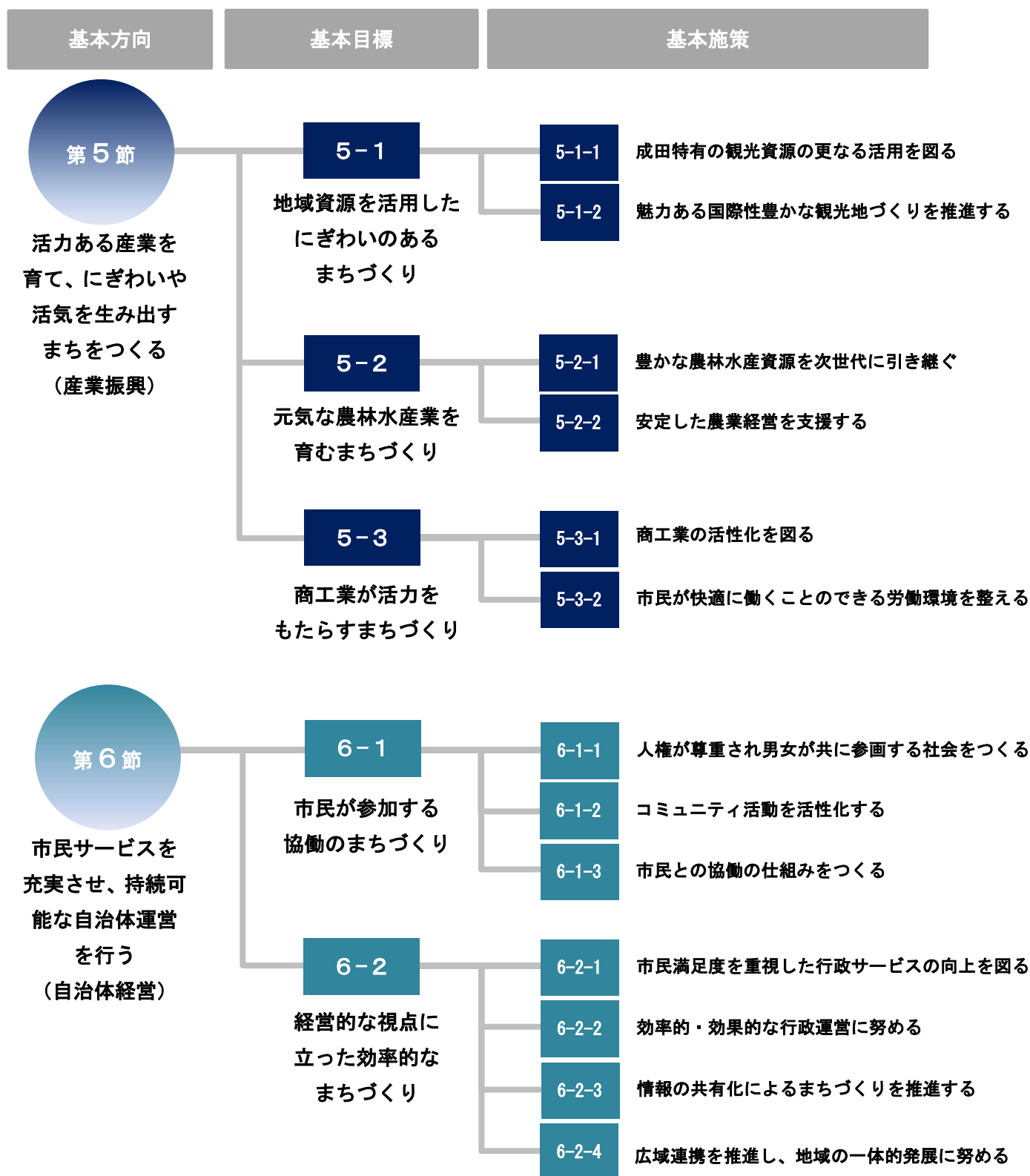
地域特性を生かした土地利用と快適な
市街地形成を図る

4-2-2

道路ネットワークと交通環境を整える

4-2-3

大学を活用したまちづくりを推進する



重点目標

① 重点目標設定の趣旨

今後4年間における重点的な目標として、基本構想における「まちづくりの基本姿勢」の「1 若者や子育て世代に魅力あるまちづくり」「2 医療・福祉の充実したまちづくり」「3 空港と共に発展するまちづくり」の3つの方向性に基づいて、以下の6つの重点目標を掲げ、その実現に向けて、重点的・積極的な取組みを進めていくこととします。

具体的には、分野別計画のうち、重点的に取り組むべき「基本施策」における、特に重要な「まちづくり指標」や施策横断的な指標を『重点指標』として位置付け、その達成に向け積極的に施策を推進することとします。

② 重点目標

重点目標1 子育て世代に魅力あるまちづくり

子育て世代にとって魅力的であり、子育て世代が集うまちを実現するため、保育サービスの質・量の向上による待機・保留児童数の減少と、出産・子育て環境整備の成果としての合計特殊出生率の上昇を重点的な目標として設定します。その達成に向け、子育てに係る支援体制を整備し、幼児期の教育や保育ニーズに対応できるよう保育環境の充実を図ります。

まちづくりの基本姿勢		1 若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり
ゴール	重点ターゲット	子育て世代
	目指すまちの姿	子育て世代が集うまち
	実現方法	安心して子どもを産み育てられる環境を整備する
関連施策		2-1-1 子どもの健やかな成長を支援する 2-1-2 安定した子育てを支える基盤を整える 3-1-3 幼児教育を推進する

【重点指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
保育園等及び地域型保育事業所の待機・保留児童数	保育課	130人	62人	43人	94人	0人	0人
合計特殊出生率	企画政策課	1.42	1.35	1.26	R2.1 公表予定	1.62	1.62

重点目標

重点目標2 若者が集う活気あふれるまちづくり

成田の魅力発信により、人々（特に若者）が国内外から集うまちを実現するため、観光入込客数の増加やスポーツ大会の誘致を重点的な目標として設定します。

その達成に向け、2018年の世界女子ソフトボール選手権大会の本市での開催や2019年の日本でのラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプの積極的な誘致などスポーツツーリズムを推進するとともに、成田山新勝寺や成田国際空港を生かした戦略的な情報発信を行います。

さらには、市内での大学の開設に対する支援とともに、若者に人気のあるスケートボードパークを整備するなど、若者にとっての魅力あるまちづくりを推進します。

まちづくりの基本姿勢		1 若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり
ゴール	重点ターゲット	若者
	目指すまちの姿	成田の魅力により多くの若者が集うまち
	実現方法	戦略的な成田の魅力発信と若者に魅力ある環境整備を進める
関連施策		4-1-2 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する 5-1-1 成田特有の観光資源の更なる活用を図る

【重点指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
観光入込客数	観光プロモーション課	1,402万人	1,479万人	1,506万人	1,590万人	1,500万人	1,600万人
誘致したスポーツ大会等の参加者数	スポーツ振興課	1,284人	5,520人	7,186人	13,782人	5,000人	6,000人

重点目標3 健康で生き生きと暮らせるまちづくり

誰もが健康で生き生きとした生活を送ることができるまちを実現するため、医科系・医療系大学の開設と市内病院への看護師確保を重点的な目標として設定します。

その達成に向け、国家戦略特区で認められた国際医療福祉大学医学部とその附属病院の開設に対する支援や看護学生への修学資金の貸付けを行うなど、医師や看護師などの医療人材の確保に努め、地域医療・救急医療体制の整備を図ります。

まちづくりの基本姿勢		2 医療・福祉の充実したまちづくり
ゴール	重点ターゲット	乳幼児から高齢者まで
	目指すまちの姿	誰もが安心して医療サービスを受けられるまち
	実現方法	医師や看護師など医療人材の確保に努める
関連施策		2-3-2 地域医療体制の充実を図る

【重点指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
医科系・医療系大学開設学部数	国家戦略特区推進課	0学部	2学部	3学部	3学部	3学部	3学部
修学資金貸付制度による市内病院への看護師等就職者数	健康増進課	37人	57人	49人	57人	120人	120人

重点目標

重点目標4 地域で支え合い安心して暮らせるまちづくり

高齢者や障がい者、一人ひとりが地域の支え合いの中で安心して暮らせるまちを実現するため、高齢者の相談体制の充実や障がい者を相互に支え合う体制の整備を重点的な目標として設定します。

その達成に向け、高齢者や障がい者、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな介護・福祉サービスを提供するとともに、それぞれが地域の中で安心して生活できるよう、関係機関と連携して支援体制の一層の強化に努めます。

まちづくりの基本姿勢		2 医療・福祉の充実したまちづくり
ゴール	重点ターゲット	高齢者、障がい者
	目指すまちの姿	一人ひとりが地域で支え合いながら安心して暮らせるまち
	実現方法	介護や福祉を充実させる
関連施策		2-2-2 高齢者が安心して生活できる体制を整える 2-2-3 障がいのある人の自立した生活を支援する

【重点指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
地域包括支援センター相談件数	介護保険課	6,882件	7,166件	8,430件	9,013件	7,900件	8,540件
障がい者グループホーム利用者数	障がい者福祉課	67人	78人	103人	106人	92人	132人

重点目標5 空港のポテンシャルを生かし成長するまちづくり

空港と空港周辺地域が持つポテンシャルを十分に活用し、空港と共に成長するまちを実現するため、第3滑走路の整備をはじめとした空港の機能強化の取組みと空港の立地を生かした先端産業の集積を重点的な目標として設定します。

その達成に向け、騒音地域対策の充実を図りつつ、空港の機能強化に向けた取組みを推進するとともに、国家戦略特区における規制緩和などを活用して、空港周辺への医療産業をはじめとした先端産業の集積やMICEの誘致を行います。

まちづくりの基本姿勢		3 空港と共に発展するまちづくり
ゴール	重点ターゲット	成田国際空港、先端産業やMICE
	目指すまちの姿	空港と共に成長するまち
	実現方法	空港の機能強化に向けた取組みと先端産業の集積やMICEの誘致を進める
関連施策		4-1-1 空港を生かしたまちづくりを推進する

【重点指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
第3滑走路整備等をはじめとした空港の機能強化	空港地域振興課	取組みの推進	取組みの推進	(4者協議会の確認書に基づく)取組みの推進	(4者協議会の確認書に基づく)取組みの推進	(4者協議会の確認書に基づく)取組みの推進	機能強化策の実現
先端産業集積件数(延べ件数)	国家戦略特区推進課	0件	0件	0件	0件	1件	3件

重点目標

重点目標6 空港の立地を生かした活気あるまちづくり

国際空港を擁するまちとして、盛んな国際交流や新たな企業の進出によって活気あるまちを実現するため、外国人との交流や企業誘致の実現を重点的な目標として設定します。

その達成に向け、国際交流イベントや交流事業などの国際交流を積極的に推進していくとともに、空港の立地や交通アクセスの利便性を生かした企業誘致策を推進します。

まちづくりの基本姿勢		3 空港と共に発展するまちづくり
ゴール	重点ターゲット	市民・在住外国人、民間企業等
	目指すまちの姿	国際交流や新たな企業の進出によって活気あるまち
	実現方法	国際交流イベントを開催するとともに企業誘致策の推進を図る
関連施策		3-3-2 国際交流を推進する
		5-3-1 商工業の活性化を図る

【重点指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
外国人交流イベント参加者数	文化国際課	928人	698人	343人	343人	1,000人	1,200人
新規企業誘致件数 (H28～延べ数)	商工課	-(H28～)	1件	1件	1件	8件	15件

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-1 安全・安心に暮らせるまちづくり

1-1-1 災害などに強いまちをつくる

【4年間の取組方針】

自主防災組織の結成を促し、防災体制の確立と防災意識の高揚を図ります。また、災害や有事に際しての十分な備えをしておくとともに、社会資本の整備や公共施設をはじめとする建築物の耐震化の促進、消防組織体制、施設整備などを含む消防力の強化など、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
自主防災組織の組織数	危機管理課	98団体	114団体	118団体	126団体	133団体	189団体
普通・上級救命講習受講者数	警防課	2,236人	2,257人	3,323人	3,622人	3,000人	4,100人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0659 施策0101	H28	4,345,000	4,471,895	地域の要請に応じ自主防災組織の設立や運営に関して助言等を行うとともに、自主防災組織の活動に必要な防災用資機材の支給及び活動費の助成を行った。
自主防災組織整備事業 (危機管理課)	H29	4,345,000	1,739,588	
	H30	4,345,000	4,122,378	
	R1	4,345,000		
0662 施策0101	H28	50,000	11,880	市災害対策本部活動を模擬的に実施する発災対応型図上訓練を実施した。
総合防災訓練事業 (危機管理課)	H29	1,207,000	1,206,134	
	H30	51,000	49,857	
	R1	1,230,000		
1594 施策0101	H28	4,593,000	4,359,650	耐震改修促進計画に基づき、住宅耐震・改修に対する助成を行うとともに、住宅全般及び特定建築物の耐震化促進の啓発や、住宅無料耐震相談会を実施した。
建築物耐震化促進事業 (建築住宅課)	H29	5,387,000	3,371,930	
	H30	5,427,000	1,685,956	
	R1	5,364,000		
0541 施策0101	H28	79,681,000	76,577,198	老朽化が進行していた三里塚消防署の建替工事を行い、平成30年6月に新庁舎として運用を開始し、消防救急体制の充実・強化を図った。
消防庁舎整備事業 (消防総務課)	H29	527,414,000	620,201,980	
	H30	209,675,000	228,704,158	
	R1	3,254,000		
0556 施策0101	H28	156,925,000	138,910,586	成田消防署の救助工作車、小型動力ポンプ付水槽車を更新するとともに、消防車両及び資機材の維持管理を行い、消防力の強化を図った。
消防車両・装備強化整備事業 (警防課)	H29	218,246,000	219,167,058	
	H30	244,458,000	237,089,703	
	R1	158,073,000		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-1 安全・安心に暮らせるまちづくり

1-1-2 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる

【4年間の取組方針】

自主防犯活動団体の設立の促進及び自主防犯活動を支援するための事業の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化し、地域の特色に応じた犯罪抑止活動を促進します。また、消費生活センターにおける相談窓口の充実強化など、消費者被害の防止を図ります。さらに、交通事故発生件数の減少を図るため、交通安全対策を推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
人口1万人当たりの犯罪発生件数	交通防犯課	141.4件	113.0件	106.5件	93.7件	135.0件	120.0件
消費生活相談の解決率	商工課	93.0%	97.9%	98.6%	98.8%	95.0%	95.0%
交通事故発生件数	交通防犯課	618件	494件	477件	469件	587件	510件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1710 施策0101	H28	32,263,000	30,208,376	小・中学校の通学路の安全確保のため、青色回転灯を装着したパトロール車による防犯広報啓発活動を実施した。また、犯罪抑止対策を推進するため、街頭防犯カメラを犯罪抑止重点地区等に5箇所設置した。
地域安全対策事業 (交通防犯課)	H29	32,198,000	30,652,193	
	H30	30,499,000	31,755,893	
	R1	30,475,000		
1711 施策0101	H28	27,045,000	26,242,362	駅前番所(えきばん)の365日開設と移動えきばん車による巡回等を実施し、犯罪の未然防止と市民の安全確保等を行った。 ・えきばん : 7名による交代勤務 年間を通し18:00～1:15 ・移動えきばん: 9名による交代勤務 平日18:00～24:00 土日祝日10:15～24:00
駅前番所事業 (交通防犯課)	H29	27,051,000	26,384,815	
	H30	27,319,000	26,883,617	
	R1	27,448,000		
0328 施策0101	H28	6,881,000	6,154,236	消費生活に関する各種苦情や問い合わせ等の相談に応じるとともに、消費者被害に関する啓発と情報提供を行うことによる被害の未然防止や拡大防止を図った。
消費生活センター運営事業 (商工課)	H29	6,851,000	8,002,854	
	H30	8,662,000	6,806,752	
	R1	8,677,000		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-2 空港と共生し安心して暮らせるまちづくり

1-2-1 空港と共生する生活環境を整える

【4年間の取組方針】

空港周辺地域の生活環境を保全し、騒音地域でも安心した暮らしが保たれるよう、住宅防音工事などの航空機騒音対策を実施するほか、騒音対策の基礎となる航空機騒音及び飛行高度コースの常時監視などを行います。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
住宅防音工事(谷間初回防音工事)の進捗率	空港対策課	87.8%	88.6%	88.6%	88.6%	92.4%	99.2%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0108 施策0102	H28	25,773,000	5,277,560	A・B滑走路に係る騒防法第一種区域に挟まれた地域(谷間地域)において、昭和60年7月1日現在に所在している住宅の所有者等が、当該住宅について住宅防音工事又は住宅防音補完工事を実施する際に補助を行った。
住宅防音工事等補助事業 (空港対策課)	H29	25,773,000	6,054,640	
	H30	19,202,000	8,316,280	
	R1	16,672,000		
0111 施策0102	H28	682,176,000	664,505,150	A・B滑走路に係る騒防法第一種区域、谷間地域並びに第一種区域に隣接する区域の防音工事済住宅の所有者等に対し、家屋及び空調施設の維持管理費の一部の補助を行った。
民家防音家屋等維持管理費補助事業 (空港対策課)	H29	682,176,000	669,118,895	
	H30	682,398,000	668,906,362	
	R1	685,765,000		
0117 施策0102	H28	60,443,000	58,482,423	航空機騒音固定測定局25局、高度コース測定局7局で常時測定を行い、航空機の騒音発生状況や飛行状況を的確に把握することにより、騒音地域での生活環境の保全を図った。また、新たな固定測定局として、東和泉局の設置を行った。
航空機騒音測定システム事業 (空港対策課)	H29	24,882,000	23,364,335	
	H30	26,328,000	27,580,601	
	R1	23,708,000		
2023 施策0102	H28	—	—	騒音地域において新たにケーブルテレビの視聴が可能となる世帯に対して、加入の際に必要な工事費の一部を補助するものであり、平成29年度に整備した中郷、久住、遠山地区に加え、平成30年度に新たに整備が完了した豊住、下総地区の加入者に対して補助を行った。
騒音地域ケーブルテレビ普及促進補助事業 (空港対策課)	H29	2,430,000	2,644,200	
	H30	7,167,000	7,345,000	
	R1	10,527,000		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-2 空港と共生し安心して暮らせるまちづくり

1-2-2 空港周辺地域の振興を図る

【4年間の取組方針】

空港周辺地域の生活環境を保全し、地域と空港が共生・共栄するために、地域の特性などを生かした施策を推進します。また、地域住民が学習や集会などに利用する施設の良好な維持管理に努めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
共生プラザ健康ルーム利用者数	空港対策課	6,814人	6,301人	6,907人	6,553人	6,882人	6,882人
共同利用施設・防音集会所の設置数	空港対策課	79箇所	80箇所	80箇所	80箇所	80箇所	80箇所

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1640	施策0102	H28	9,369,000	9,764,124	地域と空港との共生に資する施設として荒海共生プラザを運営し、航空機騒音に関する情報を提供するとともに、健康ルーム等の施設の良好な維持管理を行った。
共生プラザ維持管理事業 (空港対策課)		H29	9,267,000	9,610,383	
		H30	9,267,000	9,748,680	
		R1	9,353,000		
0104	施策0102	H28	91,361,000	85,994,428	航空機騒音地域の住民の生活環境の安定と福祉活動の向上に資するため、共同利用施設・防音集会所の保守点検及び修繕、清掃・敷地管理等を行い、施設の良好な維持管理を行った。
共同利用施設等維持管理事業 (空港対策課)		H29	86,232,000	86,944,530	
		H30	87,823,000	83,420,643	
		R1	94,832,000		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-3 快適でうるおいのあるまちづくり

1-3-1 住みやすく快適な生活環境を整える

【4年間の取組方針】

都市公園などの整備を進めるとともに、公園や緑地の適切な維持管理や空き家等の対策に関する施策の推進を図ります。また、景観計画を適切に運用し、本市の魅力ある景観づくりを推進します。さらには、里山や水辺環境の保全を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
市民1人当たりの公園の敷地面積	公園緑地課	9.7㎡	9.6㎡	9.6㎡	9.6㎡	9.8㎡	10.0㎡
花の回廊整備延長	公園緑地課	900m	1,100m	1,200m	1,200m	1,400m	2,200m

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1984 施策0103	H28	4,299,000	2,960,280	適切な維持管理が行われていない空き家等の抑制を図るため、千葉県宅地建物取引業協会印旛支部と協定を締結して空き家バンクを開設し、空き家の利活用を促進した。
空家等対策推進事業 (建築住宅課)	H29	0	0	
	H30	628,000	394,200	
	R1	268,000		
1197 施策0103	H28	99,000,000	87,169,120	三里塚第一公園内に多目的トイレを設置し、バリアフリー化を推進するとともに、グリーンウォーターパークの拡張整備に伴う調整池周辺の園路舗装工事を実施した。
住区基幹公園整備事業 (公園緑地課)	H29	112,000,000	82,390,400	
	H30	45,000,000	25,468,560	
	R1	11,000,000		
0410 施策0103	H28	74,675,000	78,112,949	市営住宅への入退去や修繕など、適正な管理を実施した。また、老朽化に伴い用途廃止が進む木造戸建て住宅の補填を図るため、UR賃貸住宅の借上げを行った。
市営住宅維持管理事業 (建築住宅課)	H29	31,279,000	25,573,936	
	H30	33,924,000	33,824,127	
	R1	39,060,000		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-3 快適でうるおいのあるまちづくり

1-3-2 水の安定供給と汚水処理の適正化を図る

【4年間の取組方針】

上水道については、経営的視点を考慮した計画的な施設整備を進めます。また、下水道などについては、汚水適正処理構想に基づいた適切な施設整備を実施するとともに、下水道事業の公営企業会計への移行に向けた準備を行います。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
上水道の管路耐震化適合率	工務課	56.4%	57.7%	56.2%	57.5%	57.0%	65.0%
経常収支比率(上水道事業)	業務課	109.4%	114.7%	105.6%	105.6%	108.0%	110.0%
汚水処理人口普及率	下水道課	90.7%	92.5%	93.0%	94.0%	95.0%	100%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0015 施策0103	H28	35,874,000	25,457,000	将来にわたっての水源を確保するために、八ッ場ダム等の整備などの水源開発等にかかる事業費を負担した。
印旛郡市広域市町村圏 事務組合水道事業 (企画政策課)	H29	19,904,000	37,069,000	
	H30	43,415,000	46,407,000	
	R1	41,887,000		
1883 施策0103	H28	418,639,000	389,701,891	市民生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインとして、安全でおいしい水道水を安定して供給するため、管路の耐震化や配水管の布設、配水場の改修、ポンプ設備更新等を実施した。
上水道事業(建設改良費) (業務課)	H29	548,292,000	400,156,984	
	H30	891,174,000	330,900,000	
	R1	1,993,650,000		
0721 施策0103	H28	172,317,000	173,707,251	下水道事業の効率的かつ安定的な事業運営を行うことを目的に、公営企業会計方式に移行するための準備作業に取り組んだ。また、計画的かつ合理的な事業経営を行っていくため、成田市公共下水道事業経営戦略を策定した。
業務に関する経費 (下水道課)	H29	198,010,000	203,242,988	
	H30	182,800,000	142,844,607	
	R1	157,118,000		
0178 施策0103	H28	71,626,000	50,560,744	合併処理浄化槽の設置を推進するため、設置(46件)に対して補助金を交付し、生活雑排水による公共水域の水質汚濁防止を図った。
合併処理浄化槽設置整備事業 (環境衛生課)	H29	71,626,000	31,156,835	
	H30	66,389,000	26,648,000	
	R1	71,788,000		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-3 快適でうるおいのあるまちづくり

1-3-3 ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める

【4年間の取組方針】

一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの適正処理と資源の再利用を進めるための各施策を実施します。さらに、施設整備に合わせて、新たな再資源化事業に取り組むとともに、適切な維持管理により、各施設の安定稼働に努めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
ごみの総排出量	クリーン推進課	52,991t	53,270t	52,566t	52,537t	49,400t	47,300t
ごみのリサイクル率	クリーン推進課	12.8%	12.3%	12.1%	17.1%	28.0%	28.0%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1277 施策0103	H28	818,373,000	873,927,336	新清掃工場において可燃ごみを適正に処理することにより、市民が快適に暮らせる生活環境の確保を図った。
成田富里いずみ清掃工場 維持管理事業 (クリーン推進課)	H29	663,646,000	762,925,194	
	H30	703,668,000	657,520,944	
	R1	647,270,000		
0146 施策0103	H28	221,704,000	1,405,774	新清掃工場から発生する余熱等を利用した施設を整備するため、地権者と引き続き用地交渉を行うとともに地元及び関係機関との協議を行った。
新清掃工場関連付帯施設 整備事業 (環境計画課)	H29	456,896,000	1,397,118	
	H30	456,896,000	4,776,388	
	R1	465,308,000		
2046 施策0103	H28	-	-	大地震や洪水等の大規模災害発生後に、大量に発生する廃棄物の処理を迅速かつ的確に行うため、災害時における廃棄物の適正処理に関する災害廃棄物処理計画を策定した。
災害廃棄物処理計画策 定事業 (クリーン推進課)	H29	-	-	
	H30	3,000,000	3,499,200	
	R1	0		
0181 施策0103	H28	203,131,000	180,382,284	斎場施設の長寿命化及び適正な維持管理に資するため、長寿命化計画を策定した。また、シャワー室を設置し、利用者の利便性向上を図った。
八富成田斎場管理運営 事業 (環境衛生課)	H29	178,277,000	165,316,304	
	H30	189,733,000	196,087,740	
	R1	278,810,000		
0136 施策0103	H28	-	-	いずみ聖地公園において普通墓地として整備する予定であった第2期2工区について、市民の需要が多い芝生墓地へと変更し、509区画を整備した。
いずみ聖地公園拡張整備 事業 (環境計画課)	H29	10,000,000	9,849,600	
	H30	130,000,000	84,240,000	
	R1	0		

第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

1-3 快適でうるおいのあるまちづくり

1-3-4 地球環境にやさしいまちをつくる

【4年間の取組方針】

市民や事業者との連携を強化し、市民ニーズに柔軟に対応しながら、住宅用省エネルギー設備設置費補助や環境保全に対する啓発などを実施します。また、大気、水質など、身の回りの環境調査を継続し、調査結果の市民への情報発信を推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
小・中学校太陽光発電整備率	学校施設課	14.3%	20.0%	26.5%	32.4%	28.6%	71.0%
なりた環境ネットワーク加入団体数	環境計画課	69団体	70団体	70団体	73団体	73団体	81団体

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
2045 施策0103	H28	-	-	雨水貯留施設の普及を促進し、水資源の有効利用、雨水の流出抑制等を図るため、雨水貯留施設の設置(30件)に対して費用の一部を補助した。
雨水貯留施設設置費補助事業 (環境計画課)	H29	-	-	
	H30	800,000	706,000	
	R1	800,000		
1689 施策0103	H28	30,000,000	24,426,034	本城小学校の校舎増築及び橋賀台小学校の大規模改造にあわせて、それぞれ太陽光発電設備を設置し、災害時の電源確保及び省エネルギー化に努めるとともに環境教育の向上を図った。
小学校太陽光発電導入事業 (学校施設課)	H29	30,000,000	34,105,520	
	H30	38,000,000	33,962,740	
	R1	0		
1897 施策0103	H28	22,000,000	22,000,000	環境への負荷の低減を図り、地球温暖化の防止など環境の保全に寄与することを目的として、住宅用省エネルギー設備(太陽光発電システム、エネファーム、定置用リチウムイオン蓄電池他)の設置に対して費用の一部を助成した。
地球温暖化対策推進事業 (環境計画課)	H29	22,200,000	19,675,000	
	H30	23,140,000	28,271,000	
	R1	14,240,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-1 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

2-1-1 子どもの健やかな成長を支援する

【4年間の取組方針】

家庭及び地域における子育て支援施策の充実を図るとともに、子育て支援に関する情報の発信を進めます。また、子どもと家庭の状況に応じた経済的支援及び相談体制の充実を図るとともに、妊娠から出産、子育て中の保護者と子どもを切れ目なく継続的に見守り、支援します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
ファミリー・サポート・センターの利用件数	子育て支援課	625件	773件	492件	745件	1,000件	1,000件
家庭児童相談の終結割合	子育て支援課	52.1%	51.8%	51.3%	25.9%	55.2%	57.2%
1歳6か月児健診・3歳児検診の未受診者状況把握率	健康増進課	96.8%	98.4%	96.8%	97.8%	100%	100%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0244	施策0201	H28	111,285,000	100,530,361	地域の子育て支援拠点として、子ども館、三里塚コミュニティセンター、もりんぴあ内の「なかよしひろば」と、子ども館内の「ふれあいひろば」の運営を行い、子育て家庭への支援の充実を図った。
子育て支援センター管理運営事業		H29	71,724,000	67,394,607	
(子育て支援課)		H30	67,768,000	67,472,627	
		R1	68,010,000		
1922	施策0201	H28	1,878,000	1,877,760	「なりた子育て応援サイト」として、子育て支援全般に関する情報を発信するとともに、市民目線からの子育て支援情報を市と協働して発信するコンテンツ「なり☆すく」として、ボランティア編集員によるワークショップ(12回)を実施し、子育てや地域に関する情報記事(21本)を掲載した。
子育て応援サイト運営事業		H29	1,878,000	1,831,384	
(子育て支援課)		H30	1,847,000	1,834,354	
		R1	1,864,000		
1920	施策0201	H28	10,700,000	8,925,000	不妊症のために不妊治療等を受けた夫婦に対し、その費用の一部を助成した。(特定不妊治療助成108人 不育症等治療費助成5人)
特定不妊・不育治療費助成事業		H29	10,700,000	9,487,000	
(健康増進課)		H30	10,500,000	9,198,000	
		R1	10,800,000		
1857	施策0201	H28	1,211,000	912,602	保育士及びヘルパーによる家庭訪問を実施し、児童虐待のリスク軽減に努めた。
養育支援訪問事業		H29	1,211,000	1,063,170	
(子育て支援課)		H30	1,477,000	1,152,881	
		R1	1,481,000		

主要事業執行状況(基本目標順)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1817	施策0201	H28	523,563,000	520,935,362	本市に居住する中学校3年生までの医療費(保険診療分)を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図った。
子ども医療費助成事業 (子育て支援課)		H29	524,649,000	514,166,763	
		H30	530,573,000	507,039,999	
		R1	524,552,000		
1661	施策0201	H28	12,597,000	12,692,380	子どもが病気または病気の回復期の場合における保育を支援するため、病児保育施設3施設を運営委託し、安心して子育てができる環境を提供した。
病児・病後児保育事業 (子育て支援課)		H29	25,297,000	25,596,480	
		H30	38,668,000	38,397,500	
		R1	38,605,000		
0274	施策0201	H28	167,467,000	149,084,724	妊娠、出産、子育てに関して、妊婦検診の助成や入院を必要とする未熟児の保護者などに対する医療費の給付など、子どもや保護者などの健康増進への支援を行うとともに、平成30年度から子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施し、子育てしやすい環境づくりを推進した。
母子保健事業 (健康増進課)		H29	167,467,000	153,850,592	
		H30	169,804,000	141,560,697	
		R1	164,010,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-1 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

2-1-2 安定した子育てを支える基盤を整える

【4年間の取組方針】

待機児童の解消を図り、私立保育園などの運営を支援するとともに、利用者が多様な保育サービスを選択できるよう保育の供給体制の確保に努めます。また、放課後の児童の安全確保や健全育成のため、児童ホームの計画的な整備に努めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
保育園等及び地域型保育事業所の待機・保留児童数	保育課	130人	62人	43人	94人	0人	0人
児童ホームの待機児童数	保育課	82人	65人	13人	82人	0人	0人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0251	施策0201	H28	865,726,000	803,304,832	赤坂保育園を含めて公立保育園13園を適正に運営し、保護者の就労・出産・疾病等により保育を必要とする乳幼児の保育を行い、子育て支援の拡充を図った。
保育園運営事業 (保育課)		H29	865,726,000	819,534,263	
		H30	877,656,000	827,537,524	
		R1	905,404,000		
0252	施策0201	H28	697,588,000	561,321,952	保育環境の改善と受入れ人数の拡大を目的に、玉造保育園大規模改修工事を実施した。また、赤坂保育園を存続し地域型保育事業所の卒園児の受け皿等を確保するため、保育室及び衛生設備の改修を行った。
保育園整備事業 (保育課)		H29	333,333,000	493,759,778	
		H30	481,218,000	556,244,153	
		R1	455,000		
0246	施策0201	H28	1,004,188,000	980,254,464	市内私立保育園11ヶ所、認定こども園2ヶ所、市外の保育施設44ヶ所に保育を委託した。(延べ人数15,605人)
私立保育園等運営委託事業 (保育課)		H29	1,399,359,000	1,319,177,660	
		H30	1,496,928,000	1,390,314,507	
		R1	1,410,824,000		
2028	施策0201	H28	—	—	市内の私立保育所等に常勤で勤務する保育士を対象に、給与の上乗せ手当として「なりた手当」を支給し、保育士の処遇改善を図った。
保育士確保・処遇改善促進事業 (保育課)		H29	33,554,000	41,506,780	
		H30	77,988,000	69,600,000	
		R1	69,948,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-2 やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり

2-2-1 高齢者の生きがいづくりを支援する

【4年間の取組方針】

老人クラブや高齢者サークル、シルバー人材センターなどの活動を支援することで、高齢者の地域活動、ボランティア活動などの社会活動への一層の参加を促進します。また、元気な高齢者自身も支え手となり、地域の住民同士で支え合う「互助」を推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
高齢者教養講座の参加者数	高齢者福祉課	2,068人	2,335人	2,342人	1,919人	2,400人	2,600人
高齢者クラブ加入者数	高齢者福祉課	4,940人	4,751人	4,603人	4,525人	5,340人	5,570人
シルバー人材センター会員数	高齢者福祉課	474人	488人	496人	469人	550人	600人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0218	施策0202	H28	1,863,000	1,664,000	高齢者の健康増進及び社会参加や交流の促進を図るため、文化、芸術、手工芸、運動に関する教養講座を開催した。
高齢者教養講座開設事業 (高齢者福祉課)		H29	1,863,000	1,310,000	
		H30	1,400,000	1,160,000	
		R1	1,413,000		
0215	施策0202	H28	22,061,000	17,777,049	高齢者の経験を生かせる就労の場を確保するため、公益社団法人成田市シルバー人材センターを支援し、その運営費の一部を補助した。
シルバー就業対策支援事業 (高齢者福祉課)		H29	22,061,000	19,691,130	
		H30	22,402,000	25,184,056	
		R1	23,729,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-2 やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり

2-2-2 高齢者が安心して生活できる体制を整える

【4年間の取組方針】

地域包括支援センターの体制を整備し、高齢者ニーズに応じた介護予防の取組みを進めるなど、地域ぐるみで高齢者一人ひとりの生活を総合的に支えます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
地域包括支援センター相談件数	介護保険課	6,882件	7,166件	8,430件	9,013件	7,900件	8,540件
在宅サービス利用件数	介護保険課	78,187件	80,428件	77,190件	85,865件	90,900件	98,300件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1496 施策0202	H28	100,265,000	100,217,720	高齢者の増加等を見据え日常生活圏域の見直しを行い、平成30年10月に地域包括支援センター1箇所(西部西地域包括支援センター)を増設し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように地域包括支援センターの機能強化を図った。
包括的支援に関する経費 (介護保険課)	H29	100,265,000	100,287,020	
	H30	107,299,000	110,555,880	
	R1	127,104,000		
2001 施策0202	H28	68,167,000	78,067,499	要支援認定者等に対して訪問型サービス、通所型サービス等を提供することにより、介護予防や日常生活支援を図った。
介護予防・生活支援サービス負担事業 (介護保険課)	H29	169,231,000	199,694,932	
	H30	192,316,000	206,580,966	
	R1	204,512,000		
2010 施策0202	H28	2,230,000	1,617,472	認知症の初期における必要な医療と介護の導入・調整や家族支援を包括的、集中的に行う認知症初期集中支援チームを設置することにより、早期の診断・対応に向けた支援体制を構築するとともに、関係機関との連携を担う認知症地域支援推進員を配置した。
認知症総合支援事業 (介護保険課)	H29	2,230,000	1,583,749	
	H30	5,385,000	5,286,300	
	R1	5,386,000		
1806 施策0202	H28	64,001,000	63,286,482	高齢者の通院や買い物など、気軽に外出できる機会を増やすための交通手段として、乗降時間や乗降場所の要望(デマンド)に対応することのできる、乗合い型タクシーの運行サービスを実施した。
オンデマンド交通高齢者移送サービス事業 (高齢者福祉課)	H29	64,030,000	62,892,288	
	H30	72,946,000	71,985,920	
	R1	73,489,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-2 やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり

2-2-3 障がいのある人の自立した生活を支援する

【4年間の取組方針】

障がい者の生活支援サービスの提供体制の充実を図るとともに、障がい者の就労拡大に向けた支援体制の整備を進めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
障がい者グループホーム利用者数	障がい者福祉課	67人	78人	103人	106人	92人	132人
障がい福祉サービス(就労支援)を利用する障がい者の民間企業などへの就職者数	障がい者福祉課	10人	11人	13人	7人	26人	34人
障がい者相談件数	障がい者福祉課	3,089件	3,021件	3,247件	4,676件	3,659件	4,571件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0222 施策0202	H28	616,024,000	642,431,881	障がい者が地域生活を続けていくために必要な福祉サービスを提供するとともに、補装具・日常生活用具給付等の自立支援給付を実施した。また、地域生活支援事業として、移動支援、障害者デイサービス、日中一時支援、訪問入浴等の生活支援事業を実施した。さらに、グループホームの入居者に対しては、家賃助成を行った。
障害者地域生活支援事業 (障がい者福祉課)	H29	634,245,000	720,683,801	
	H30	674,384,000	804,054,782	
	R1	757,906,000		
1194 施策0202	H28	1,063,643,000	1,100,281,144	在宅での生活が困難な障がい者に生活支援をしていくため、施設入所サービスに係る介護給付を行ったほか、生活介護や就労支援サービス等、通所サービスに係る介護給付を行った。
障害者施設利用支援事業 (障がい者福祉課)	H29	1,067,855,000	1,141,129,137	
	H30	1,088,250,000	1,189,624,054	
	R1	1,175,261,000		
1177 施策0202	H28	40,456,000	39,234,955	介護給付認定審査会において、障害福祉サービスを利用する際に必要とされる障害支援区分の認定を行った。また、障がい者差別の解消に向けた取組みを審議し相談事例を検討するための機関として、障がい者差別解消地域支援協議会を新たに設置した。
障害者相談・制度利用促進事業 (障がい者福祉課)	H29	41,883,000	40,010,653	
	H30	40,777,000	41,369,558	
	R1	41,441,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-2 やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり

2-2-4 生活の安定を確保して自立・就労を支援する

【4年間の取組方針】

市や関係機関などの専門的な窓口の充実を図るほか、これらの連携を重視した各種相談体制や情報提供の仕組みづくりを進めます。また、生活困窮者などの生活の安定や自立支援、災害時における避難行動要支援者対策、福祉に配慮したまちづくりなどについての横断的な取組みを推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
ボランティアセンター登録者数	社会福祉課	1,891人	1,649人	1,781人	1,948人	1,997人	2,158人
経済的自立により生活保護の廃止に至った件数	社会福祉課	29件	62件	56件	21件	40件	60件
母子・父子自立支援員相談回数	子育て支援課	156回	161回	178回	91回	230回	350回

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1951	施策0202	H28	39,073,000	38,076,930	生活困窮者の経済的な自立や貧困の連鎖を防止するため、自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計相談支援事業の各事業を業務委託により実施したほか、学習支援事業の運営、住居確保給付金の支給等を行った
生活困窮者自立支援事業 (社会福祉課)		H29	39,073,000	37,005,880	
		H30	39,073,000	37,726,478	
		R1	39,989,000		
0248	施策0202	H28	40,848,000	37,995,095	母子父子家庭等への支援として、小中学校、高等学校に入学、または中学校卒業後直ちに就職する児童の保護者に祝金を支給するとともに、医療費に係る自己負担額及び証明手数料の一部を助成した。また、父母またはそのどちらかが死亡もしくは障がいの状態になった場合にその児童の養育者に遺児等手当を支給した。
母子・父子家庭支援事業 (子育て支援課)		H29	40,848,000	37,851,578	
		H30	38,535,000	37,664,257	
		R1	36,739,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-2 やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり

2-2-5 社会保険制度を安定的に運用する

【4年間の取組方針】

関係機関と連携し制度の周知に努めるとともに、国民健康保険制度においては、医療費負担を削減し、安定した制度運用が図られるよう、特定健康診査の受診率向上とジェネリック医薬品の利用を促進します。また、同制度は、平成30年度から広域化となることから、その動向を踏まえた対策を講じます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
特定健康診査受診率	保険年金課	31.2%	31.8%	31.7%	32.8%	60.0%	60.0%
ジェネリック医薬品普及率	保険年金課	60.4%	69.3%	71.4%	74.8%	80.0%	80.0%
年金相談件数	保険年金課	84件	110件	138件	80件	90件	110件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0122	施策0202	H28	2,034,361,000	1,392,897,006	被保険者の経済的負担の軽減を図るため、一般会計から国民健康保険特別会計への繰り出しを行った。
国民健康保険特別会計繰出金 (保険年金課)		H29	2,063,948,000	1,109,313,751	
		H30	1,414,306,000	969,571,416	
		R1	1,287,943,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-3 健康で笑顔あふれるまちづくり

2-3-1 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する

【4年間の取組方針】

健康増進計画を策定し、各世代のライフスタイルに応じた事業を推進します。また、予防接種による感染症予防、生活習慣の見直し、疾病の予防・早期発見、生活リハビリテーションを進めるとともに、健康に関心を持ち、意識を深めるための健康教育や情報提供を行います。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
予防接種率	健康増進課	71.0%	86.8%	85.2%	92.9%	80.0%	85.0%
一般健康診査受診率	健康増進課	3.5%	3.3%	2.5%	2.7%	4.8%	5.8%
結核・がん検診受診率	健康増進課	29.0%	21.5%	11.7%	11.4%	30.7%	31.7%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0266 施策0203	H28	356,103,000	360,953,330	感染症等の疾病の発生とまん延を予防し市民の健康増進に寄与するため、定期接種及び任意接種を医療機関に委託して実施した。平成30年度は、風しんの流行によりワクチン助成件数が大幅な増加となった。
予防接種事業 (健康増進課)	H29	372,103,000	335,617,490	
	H30	379,809,000	340,898,457	
	R1	376,401,000		
0268 施策0203	H28	29,560,000	29,808,709	疾病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善のため、身体計測・問診・尿検査・血圧・血液検査(肝機能、血糖、脂質で7項目)などの各種健康診査を実施した。
健康診査事業 (健康増進課)	H29	30,093,000	23,094,930	
	H30	26,739,000	26,468,546	
	R1	27,564,000		

第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

2-3 健康で笑顔あふれるまちづくり

2-3-2 地域医療体制の充実を図る

【4年間の取組方針】

国家戦略特区において、新たに設置が認められた国際医療福祉大学医学部とその附属病院の開設を支援するとともに、医師・看護師の確保策や医療と介護の連携推進など、市民が安心して医療サービスを受けられる施策の推進を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
在宅医療・介護連携支援センターの設置箇所数	健康増進課	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所
修学資金貸付制度による市内病院への看護師等就職者数	健康増進課	37人	57人	49人	57人	120人	120人
医科系・医療系大学開設学部数	国家戦略特区推進課	0学部	2学部	3学部	3学部	3学部	3学部

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0262 施策0203	H28	409,322,000	366,860,199	救急医療体制を維持するため負担金等を交付し、地域医療の円滑な推進を図った。また、看護師不足に対応するため、将来市内の病院に看護師等として勤務を希望する学生に対し、無利子で修学資金の貸付を行い、市内における看護師等の確保及び地域医療環境の充実を図った。
地域医療対策事業 (健康増進課)	H29	477,283,000	444,818,460	
	H30	413,595,000	427,438,764	
	R1	486,895,000		
1693 施策0203	H28	7,953,000	7,952,817	医療や健康状況の悩みなどの相談に応じる通話無料のテレホンサービスとして、24時間365日、電話相談を受け付け、医師や看護師、心理カウンセラーなどの専門家による医療、介護などについてのアドバイスを行った。
医療相談ほっとライン事業 (健康増進課)	H29	7,953,000	7,933,582	
	H30	10,692,000	7,722,000	
	R1	10,761,000		
1985 施策0203	H28	5,612,000	5,601,400	在宅医療・介護連携支援センターを設置し、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築に向けた取組みを推進した。
在宅医療・介護連携推進事業 (健康増進課)	H29	11,080,000	5,423,204	
	H30	9,474,000	3,625,017	
	R1	4,628,000		
2048 施策0203	H28	-	-	骨髄等移植ドナー及びドナーを雇用する事業者でドナー休暇制度を設けているものに対し助成金を交付することにより、ドナーの経済的負担の軽減及びドナー休暇制度の導入を促進するとともに、末梢血管細胞の移植及び骨髄等の提供を希望する者の登録の推進を図った。 (助成件数 ドナー 1件、ドナー登録会実施 8回)
骨髄移植ドナー支援事業 (健康増進課)	H29	-	-	
	H30	420,000	140,000	
	R1	420,000		
1963 施策0203	H28	3,061,438,000	2,623,026,649	国際医療福祉大学医学部の校舎整備に要する費用に対して補助を行うとともに、附属病院の開院に向けて、文化財調査及び法面整備工事等を実施した。
国家戦略特区推進事業 (国家戦略特区推進課)	H29	1,783,660,000	1,793,520,457	
	H30	746,584,000	758,202,362	
	R1	31,044,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-1 成田の未来をつくる義務教育を推進する

【4年間の取組方針】

子どもたちが、社会を生き抜く力を育み、グローバル化に対応できるよう、伝統・文化、道徳性などの様々な知識や技能にかかわることのできる、よりよい学校教育環境づくりを進めます。また、様々な困難を抱えている子どもたちへの支援を充実させるとともに、社会の変化に対応した教育を推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
タブレット端末の導入校数	教育総務課	0校	1校	5校	9校	26校	31校 (全校配置)
親子方式による給食施設の整備 箇所数	学校給食センター	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所	5箇所	8箇所
教育相談員配置校数	教育指導課	12校	12校	12校	12校	15校	17校

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0456、0461 施策0301	H28	107,301,000	106,419,276	ICT(情報通信技術)を活用した効果的な教育を行うために、小中学校に教育用コンピュータを整備するとともに、機器類の入替に併せてタブレットを導入した。
小・中学校教育用コンピュータ整備事業 (教育総務課)	H29	106,477,000	102,219,222	
	H30	102,882,000	92,988,792	
	R1	89,704,000		
0515 施策0301	H28	41,585,000	40,564,882	学校支援ボランティアや巡回看護師、特別支援教育巡回指導員の派遣等により、教職員に対する支援を行うとともに、研修事業として教育センター講座、教育相談講座、小中英語研修会などの研修を開催し、学校における教育活動の振興と充実を図った。
教育センター運営事業 (教育指導課)	H29	41,947,000	38,774,426	
	H30	40,483,000	42,375,857	
	R1	40,702,000		
0485 施策0301	H28	161,306,000	0	成田小学校及び八生小学校への配送を行う親子方式による給食施設として、美郷台小学校内の学校給食共同調理場の整備に着手した。
学校給食施設整備事業 (学校給食センター)	H29	819,807,000	10,657,000	
	H30	161,306,000	33,972,080	
	R1	831,825,000		
1893,2034 施策0301	H28	111,418,000	12,692,160	学校規模の適正化等を図るため、大栄地区内の小学校5校と中学校を統合した義務教育学校の開校に向けて、一体型校舎のグラウンド整備工事等を行った。
大栄地区小中一体型校舎建設事業 (学校施設課)	H29	325,040,000	185,324,652	
	H30	208,862,000	149,810,040	
	R1	1,754,512,000		
2031 施策0301	H28	—	—	本城小学校区の児童数増加に対応するため、校舎の増築工事を実施した。
本城小学校増築事業 (学校施設課)	H29	132,453,000	28,244,840	
	H30	370,586,000	329,813,539	
	R1	0		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-2 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる

【4年間の取組方針】

心豊かで健やかな子どもを育てるため、学校の求めに応じて地域の人が参画するボランティア活動を推進し、より効果的に学校の支援を行う体制づくりを進めます。また、家庭教育支援を充実させ、家庭の教育力の向上に取り組みます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
学校支援のための地域コーディネーター数	学務課	4人	4人	8人	13人	34人 (全校配置)	29人 (全校配置)
家庭教育学級参加者数	生涯学習課	10,536人	10,311人	10,239人	10,393人	10,500人	11,000人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1954	施策0301	H28	649,000	444,480	市内13校に地域コーディネーターを配置し、朝の学習活動支援、農業や昔遊びなどの体験活動支援、スクールバスの添乗支援など、それぞれの学校のニーズに応じた活動を地域の方とともに取り組んだ。また、地域コーディネーターや学校と連携し、組織づくりやボランティアの募集などについての支援を行った。
学校支援地域本部事業 (学務課)		H29	1,267,000	920,604	
		H30	5,037,000	1,530,988	
		R1	3,674,000		
1781	施策0301	H28	8,631,000	7,721,138	家庭教育の向上に向け、児童生徒の個性や各家庭の状況に応じた取組みを推進し、子育てや親のあり方、人権等に関する講話・実習等を小中学校や保育園等で実施した。 (総実施回数:394回、延べ参加人数:10,393人)
家庭教育学級開催事業 (生涯学習課)		H29	8,631,000	7,586,618	
		H30	8,438,000	7,971,847	
		R1	8,631,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-3 幼児教育を推進する

【4年間の取組方針】

大栄幼稚園の適切な運営・管理を行うとともに、私立幼稚園への支援を進め、幼稚園における教育環境の更なる充実を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
幼稚園在籍者数	保育課	2,341人	2,278人	2,150人	1,949人	2,394人	2,394人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1268	施策0301	H28	101,912,000	97,941,946	幼児教育と子育て支援により家庭における幼児期の教育を支援するため、大栄幼稚園の管理運営及び幼児の教育振興を図った。
大栄幼稚園管理運営事業 (保育課)		H29	51,871,000	53,440,397	
		H30	55,837,000	50,380,642	
		R1	57,446,000		
1992	施策0301	H28	270,954,000	251,809,178	私立幼稚園に在園する園児の保護者に対し、世帯の課税状況に応じ保育料の一部を就園奨励費補助金として交付するとともに、園児補助金として園児の保護者に対して、園児1人あたり年額10,000円を補助することにより、経済的負担の軽減を図った。
私立幼稚園就園奨励事業 (保育課)		H29	270,954,000	239,408,131	
		H30	262,102,000	224,611,468	
		R1	373,076,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-4 青少年を健全に育成する

【4年間の取組方針】

青少年育成団体や民間団体、地域社会と連携を図り、自然体験や社会体験、ボランティア体験などの様々な機会を提供して、青少年健全育成活動の普及・啓発に取り組みます。さらに、地域の参画を得て、児童の放課後の安全・安心な居場所づくりの推進を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
青少年育成団体主催行事への 児童生徒参加者数	生涯学習課	3,077人	2,803人	2,753人	2,248人	3,200人	3,500人
放課後子ども教室参加児童数	生涯学習課	3,053人	3,391人	3,081人	3,501人	4,800人	7,200人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1905 施策0301	H28	17,409,000	13,835,410	青少年の健全な育成を図るため、育成団体6団体に対する補助を行った。
青少年健全育成事業 (生涯学習課)	H29	14,337,000	10,474,217	
	H30	14,188,000	11,013,938	
	R1	14,994,000		
1569 施策0301	H28	4,715,000	3,850,449	市内7校(豊住小・遠山小・美郷台小・下総みどり学園・八生小・加良部小・中台小)において、小学校の空き教室や校庭、体育館などの施設を活用した放課後子ども教室を実施した。 (合計140回、参加児童延べ人数3,501名。)
放課後子ども教室推進事業 (生涯学習課)	H29	4,695,000	3,590,593	
	H30	5,120,000	3,417,983	
	R1	5,263,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり

3-2-1 市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する

【4年間の取組方針】

市民の学習ニーズに対応した、誰もが参加しやすい学習環境づくりを進めるとともに、地域に学習成果を還元できる仕組みの促進を図ります。また、関係機関・関係団体・地域の人材との連携を進めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
生涯大学院の入学人数	生涯学習課	92人	87人	62人	47人	100人	100人
市民1人当たりの年間図書貸出冊数	図書館	10.0冊	9.8冊	9.5冊	9.2冊	10.3冊	11.0冊
市民1人当たりの年間生涯学習施設利用回数	生涯学習課	2.1回	2.1回	1.9回	1.9回	2.3回	2.5回

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1902 施策0302	H28	8,784,000	8,359,558	国際医療福祉大学及び順天堂大学との連携事業を通して、幅広い分野にわたる学習を行うとともに、学生が主体となり学園祭を文化芸術センターで実施するなど、高齢者の生きがいづくりを促進した。
生涯大学校管理運営事業 (生涯学習課)	H29	9,056,000	8,230,738	
	H30	9,008,000	8,572,093	
	R1	9,149,000		
1269 施策0302	H28	136,538,000	135,181,877	本館と公津の杜分館を中心に市内の公民館図書室等と連携し、資料の貸出やレファレンス、子どもの読書活動推進事業、障がい者サービスなどの図書館サービスを市内全域で展開した。
図書館事業 (図書館)	H29	146,348,000	139,269,270	
	H30	140,344,000	113,980,138	
	R1	164,352,000		
1311 施策0302	H28	32,000,000	23,461,920	施設の老朽化が認められる大栄公民館について、平成28年度の外壁改修(1期工事)、平成29年度のホール改修に引き続き、平成30年度は外壁改修(2期工事)を実施し、市民が安全に利用できる施設として充実に図った。
公民館大規模改修事業 (公民館)	H29	331,900,000	331,818,120	
	H30	23,100,000	20,596,680	
	R1	0		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり

3-2-2 成田の地域文化や伝統を学ぶ

【4年間の取組方針】

成田国際文化会館や文化芸術センターなどの文化施設の市民利用を促進するなど、文化団体や市民が活動しやすい環境を整備します。また、文化芸術に対する学習機会の拡充や伝統文化の継承、指定文化財の保存・活用を通じて、本市への理解を深め、地域文化や伝統を学ぶ機会の充実を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
市民1人当たりの文化施設等における年間文化芸術活動回数	文化国際課	3.6回	4.3回	4.1回	4.1回	4.0回	4.5回
史跡めぐり・歴史講演会等への参加者数	生涯学習課	438人	385人	399人	404人	600人	800人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1890 施策0302	H28	135,747,000	134,219,645	スカイタウンホールにおいて、一流の演奏家を招いてのコンサートなどを開催するとともに、スカイタウンギャラリーにおいて、「なつかしのなりた展」や、市民から出品者を募った「手作りおひなさま展」、子供向けの「ミニチュアフード展」などを開催し、市内外へ文化の振興となる事業を展開した。
文化芸術センター管理運営事業 (文化国際課)	H29	133,036,000	128,083,080	
	H30	131,394,000	124,258,609	
	R1	131,056,000		
1907 施策0302	H28	2,584,000	1,768,710	地域の歴史や文化財に対する理解と関心を深めるため、史跡めぐりや、歴史講演会、博物館めぐりを実施した。また、市内の文化財、伝統行事等を記した「成田市の文化財」の発行等を行った。
文化財保護啓発事業 (生涯学習課)	H29	2,584,000	1,601,481	
	H30	2,768,000	2,092,127	
	R1	2,675,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり

3-2-3 スポーツに親しめる環境をつくる

【4年間の取組方針】

市民が自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、「する」「みる」「ささえる」のどの立場からでも参加できるイベントを開催します。また、施設の良い管理運営を行うとともに、多様化するスポーツニーズに対応した施設整備を進めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
各種スポーツイベント参加者数	スポーツ振興課	10,442人	12,460人	15,285人	22,756人	14,500人	15,500人
総合型地域スポーツクラブ数	スポーツ振興課	0団体	1団体	1団体	1団体	2団体	3団体
スポーツ施設利用者数	スポーツ振興課	1,029千人	1,100千人	1,097千人	1,069千人	1,040千人	1,060千人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0635 施策0302	H28	178,962,000	36,271,900	中台運動公園において、体育館アリーナの空調設備の整備工事を実施するとともに、水泳プール管理棟の建替え及び50mプールの改修工事に係る実施設計を行った。また大谷津運動公園及び中台運動公園のトイレについて、改修工事に係る実施設計を行った。
運動公園等整備事業 (公園緑地課)	H29	510,804,000	372,393,260	
	H30	970,199,000	330,766,876	
	R1	1,347,338,000		
0630 施策0302	H28	66,926,000	55,501,200	遠山スポーツ広場の拡張整備に向けた樹木伐採、埋蔵文化財調査及び既存テニスコートの撤去工事を実施するとともに、老朽化したトイレの改修工事を実施した。また、スポーツ広場の駐車場用地として活用するため、隣接する土地を購入した。
スポーツ広場等整備事業 (公園緑地課)	H29	24,807,000	13,830,264	
	H30	97,260,000	69,036,960	
	R1	291,016,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-3 国際性豊かなまちづくり

3-3-1 国際理解を促進する

【4年間の取組方針】

英語教育に関して、授業内容や指導方法の充実を図るとともに、異文化理解の機会をより多く提供します。また、外国人児童生徒に対し、学校生活・日常生活への適応を図ることができるよう支援します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
外国人英語講師配置校数	教育指導課	35校 (全校配置)	35校 (全校配置)	34校 (全校配置)	34校 (全校配置)	35校 (全校配置)	35校 (全校配置)
小中学生のアンケート「英語の学習が好きですか」で「はい」の割合	教育指導課	86.7%	86.7%	86.1%	84.8%	88.0%	88.0%
成人式のアンケート「外国人に話しかけられたら応えてあげますか」で「はい」の割合	教育指導課	83.8%	89.9%	91.0%	90.0%	84.0%	84.0%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0511	施策0303	H28	180,986,000	177,526,474	市内24小学校及び義務教育学校前期課程に外国人英語講師30名を配置、市内9中学校及び義務教育学校後期課程に外国人英語講師18名を配置、教育委員会内に英語指導助手2名を配置した。また、小中学校英語教育に関する検討委員会や外国人英語講師研修会、小中学校英語研修会等を開催し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成に努めた。
英語科研究開発事業 (教育指導課)		H29	182,956,000	180,777,200	
		H30	181,798,000	181,971,937	
		R1	184,784,000		
1548	施策0303	H28	13,691,000	12,892,888	外国人児童生徒に対して適切な日本語指導を行うとともに、外国人保護者が学校からの通知文を正しく理解できるよう翻訳等を行った。
日本語教育補助員配置事業 (教育指導課)		H29	13,691,000	12,397,403	
		H30	13,464,000	12,732,842	
		R1	13,643,000		

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

3-3 国際性豊かなまちづくり

3-3-2 国際交流を推進する

【4年間の取組方針】

本市の友好・姉妹都市との交流を深めます。また、成田市国際交流協会の活動に対する市民の参加・協力を促進するとともに、国際交流イベントなどを通じて外国人と共に暮らせるまちづくりを進めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
外国人交流イベント参加者数	文化国際課	928人	698人	343人	343人	1,000人	1,200人
国際市民フェスティバル参加者数	文化国際課	3,500人	3,500人	4,500人	2,000人	4,600人	4,800人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0022 施策0303	H28	20,727,000	17,133,336	友好・姉妹都市(アメリカ・サンプルーノ市、ニュージーランド・フォクストン)とのホームステイを中心とした交流事業を実施した。また、友好都市協定締結30周年を記念し、中国・咸陽市を訪問した。さらに、韓国・仁川広域市中区と友好都市協定締結20周年を迎え、親善交流サッカー大会にあわせて区庁長訪問団が来成した。
国際交流事業 (文化国際課)	H29	21,487,000	21,766,902	
	H30	20,964,000	19,242,042	
	R1	24,022,000		
0615 施策0303	H28	2,500,000	2,500,000	世界各国のこどもたちと成田市内のこどもたちの絵画作品を紹介することにより、夢と創造力を育み、絵画を通じた生活・文化の理解及び芸術文化の振興発展に努めた。(来場者:3,780名)
国際こども絵画交流展開 催事業 (文化国際課)	H29	2,500,000	2,500,000	
	H30	2,500,000	2,000,000	
	R1	2,500,000		

第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)

4-1 空港を生かした活気あふれるまちづくり

4-1-1 空港を生かしたまちづくりを推進する

【4年間の取組方針】

騒音地域対策の充実を図りつつ、第3 滑走路の整備など空港の機能強化に向けた取組みを進めます。また、国家戦略特区における規制緩和などの実現に向け、関係機関と協議を行うとともに、先端産業を集積するための取組みを進めます。また、補助金の交付などの開催支援により、多くのMICE の誘致を行うとともに、民間活力によるMICE 施設の建設を推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
MICE開催件数	観光プロモーション課	5件	12件	13件	12件	10件	15件
先端産業集積件数(延べ件数)	国家戦略特区推進課	0件	0件	0件	0件	1件	3件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1962	施策0401	H28	1,860,000	322,788	全国の大都市圏の医療関連企業等2,000社にアンケート調査を行い、広く医療関連企業等のニーズを把握するとともに、本市に進出が期待できる医療産業分野の抽出や事業化に向けた課題等を整理した。
産業集積推進事業 (国家戦略特区推進課)		H29	1,860,000	1,404,000	
		H30	1,740,000	1,490,400	
		R1	1,740,000		

主要事業執行状況(基本目標順)

第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)

4-1 空港を生かした活気あふれるまちづくり

4-1-2 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する

【4年間の取組方針】

国内外のスポーツイベントや東京オリンピック・パラリンピックなどの事前キャンプを積極的に誘致します。また、訪日外国人旅行者やLCCを利用する国内旅行者などをターゲットに、成田の魅力を発信し、成田ブランドの一層の推進を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
誘致したスポーツ大会等の参加者数	スポーツ振興課	1,284人	5,520人	7,186人	13,782人	5,000人	6,000人
観光入込客数	観光プロモーション課	1,402万人	1,479万人	1,506万人	1,590万人	1,500万人	1,600万人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1988	施策0401	H28	7,714,000	7,274,145	「成田市スポーツツーリズム推進戦略」に則り事業の推進を図るとともに、アメリカ陸上チームやアイルランドパラリンピックチームとのホストタウン事業など、持続可能なスポーツツーリズムに積極的に取り組んだ。
スポーツツーリズム推進事業 (スポーツ振興課)		H29	5,000,000	4,010,845	
		H30	5,050,000	9,221,748	
		R1	13,748,000		
0622	施策0401	H28	3,140,000	3,572,000	メガスポーツイベントである世界女子ソフトボール選手権大会の誘致のほか、バスケットボール日本リーグ公式戦、プロ野球イースタンリーグ公式戦、千葉県小学生相撲選手権大会、ラグビーフェスティバルの誘致により、大会参加者を含めて総勢13,782名の誘客に成功し、スポーツに対する市民の意識醸成が図られるとともに、国内外へ本市の魅力をPRした。
各種競技大会誘致事業 (スポーツ振興課)		H29	3,540,000	2,611,772	
		H30	13,340,000	13,811,280	
		R1	3,850,000		
1901	施策0401	H28	80,192,000	95,062,076	「成田市観光基本戦略」に沿った施策、計画事業の推進を図った。また、歌舞伎公演、歌舞伎講座、歌舞伎衣裳展、歌舞伎座地下木挽町観光プロモーションを開催するなど、市川海老蔵プロジェクトを展開し、歌舞伎を通じ日本の伝統芸能・文化と連動しながら「歌舞伎のまち成田」のブランド醸成を図り、成田の魅力を発信した。
成田ブランド推進戦略事業 (観光プロモーション課)		H29	80,220,000	79,205,624	
		H30	88,143,000	90,725,283	
		R1	87,998,000		

第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)

4-2 魅力ある機能的なまちづくり

4-2-1 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る

【4年間の取組方針】

都市計画マスタープランを見直すとともに、土地利用の適正化について検討を行い、中心市街地などの拠点となる地域の機能強化や地域の個性あるまちづくりを推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
市域全体のうち市街地内の建築物割合	都市計画課	77.7%	79.7%	81.9%	83.7%	80.0%	80.0%
地区計画の決定数	都市計画課	11地区	12地区	13地区	14地区	12地区	14地区

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0413	施策0402	H28	20,050,000	19,336,640	地域公共交通網形成計画を策定するための基礎調査として、市民アンケートや利用者アンケートに加え交通事業者へのヒアリングを行い、公共交通の現状や課題を把握するとともに、今後の取り組みの方向性について検討を行った。
都市計画策定事業 (都市計画課)		H29	588,000	502,712	
		H30	586,000	5,657,658	
		R1	6,896,000		
1578	施策0402	H28	8,424,000	8,208,000	都市再生整備計画(成田駅周辺地区・成田ニュータウン地区)の事後評価業務を実施するとともに、成田市立地適正化計画に基づく新たな都市再生整備計画の素案の作成を行った。
都市再生整備推進事業 (都市計画課)		H29	12,850,000	7,128,000	
		H30	13,500,000	11,096,625	
		R1	0		
0420	施策0402	H28	281,039,000	197,808,666	表参道の景観形成と歩行者の安全確保を図るため、花崎町地区において建物のセットバックを行うとともに、仲町地区の重要保全建築物の維持管理に対して補助を行った。また、表参道の車道について、花崎町の千葉銀行跡地から幸町の薬師堂付近までの約500メートルを、景観に配慮した石畳風舗装に改修した。(セットバック整備状況:対象件数108件のうち96件完了(進捗率89%))
表参道整備事業 (市街地整備課)		H29	400,580,000	118,411,539	
		H30	489,567,000	99,830,943	
		R1	600,000		

第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)

4-2 魅力ある機能的なまちづくり

4-2-2 道路ネットワークと交通環境を整える

【4年間の取組方針】

「成田市幹線道路網整備計画」に基づき市内幹線道路網の段階的な整備を推進していくとともに、「橋梁りょう長寿命化修繕計画」に基づいて、橋りょうの計画的な修繕工事を実施します。また、バス交通の充実を図るとともに、機能強化に向けた調査・研究を実施します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
幹線道路整備完了路線数	土木課	—(H28～)	2路線	2路線	3路線	7路線	20路線
コミュニティバスの利用者数	交通防犯課	231,003人	226,947人	225,197人	224,659人	242,000人	252,000人
橋りょう長寿命化修繕工事実施数	道路管理課	6橋	19橋	40橋	52橋	112橋	232橋

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0387 施策0402	H28	731,138,000	803,894,608	国道、県道及び公共施設等との連結的役割を担う幹線道路を整備し、市内各地区の連携機能の強化を図った。(幹線道路網整備計画による整備済延長9,722m)
幹線道路整備事業 (土木課)	H29	720,832,000	628,039,971	
	H30	666,004,000	408,483,657	
	R1	800,984,000		
0678 施策0402	H28	151,971,000	151,823,000	市内の離合地域や交通不便地区から市街地へコミュニティバスを運行し、市民の交通利便性の向上を図った。 (利用者数 ・遠山ルート:62,091人 ・大室小泉ルート:35,411人 ・水掛ルート:25,490人 ・豊住ルート:25,176人 ・しもふさ循環ルート:17,941人 ・津富浦ルート:28,793人 ・北須賀ルート:29,757人 合計 224,659人)
コミュニティバス運行事業 (交通防犯課)	H29	157,091,000	154,328,493	
	H30	154,662,000	154,460,072	
	R1	156,115,000		
0400 施策0402	H28	164,543,000	165,506,233	市が管理する道路施設等について、路面の清掃のほか道路照明や駅自由通路の管理、エレベーター等の点検を行い、施設の良好な維持管理に努めた。また、平成30年度は、街路灯のLED照明化を推進するため導入調査設計を実施した。
道路施設等管理事業 (道路管理課)	H29	169,543,000	162,995,085	
	H30	174,460,000	175,583,684	
	R1	155,558,000		
0399 施策0402	H28	215,000,000	275,581,728	市が管理する232橋について、近接目視を基本とした定期点検を実施し、長寿命化計画に基づいた修繕工事を実施した。また、平成29年度より継続していた郷部大橋補修工事を完了した。
橋りょう補修事業 (道路管理課)	H29	423,000,000	261,245,385	
	H30	600,000,000	676,235,787	
	R1	330,000,000		

第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)

4-2 魅力ある機能的なまちづくり

4-2-3 大学を活用したまちづくりを推進する

【4年間の取組方針】

大学の人材や研究成果をまちづくりに積極的に活用し、地域との結び付きを強化します。また、教育資金利子補給金を交付することにより、教育の機会均等と経済的負担の軽減を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
明治大学・成田社会人大学の受講者数	生涯学習課	245人	212人	190人	161人	240人	240人
教育資金利子補給金交付件数	教育総務課	161件	171件	151件	157件	169件	169件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1963	施策0203	H28	3,061,438,000	2,623,026,649	国際医療福祉大学医学部の校舎整備に要する費用に対して補助を行うとともに、附属病院の開院に向けて、文化財調査及び法面整備工事等を実施した。
国家戦略特区推進事業(再掲)		H29	1,783,660,000	1,793,520,457	
		H30	746,584,000	758,202,362	
(国家戦略特区推進課)		R1	31,044,000		
0450	施策0402	H28	2,659,000	2,110,913	高等教育等の機会均等と経済的負担の軽減を図るとともに、教育の振興に資するため、教育資金利子補給金を交付した。
教育資金利子補給事業		H29	2,659,000	1,789,280	
		H30	2,689,000	1,567,349	
(教育総務課)		R1	2,496,000		

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

5-1 地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり

5-1-1 成田特有の観光資源の更なる活用を図る

【4年間の取組方針】

成田山新勝寺を中心に、日本の伝統芸能である歌舞伎や、地域に受け継がれてきた祭り・伝統芸能を活用した新たな観光PRを行うとともに、LCC 就航地先などで観光キャンペーンを行い、更なる観光客の誘致を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
観光入込客数(再掲)	観光プロモーション課	1,402万人	1,479万人	1,506万人	1,590万人	1,500万人	1,600万人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0314 施策0501	H28	27,773,000	21,215,043	観光キャラクター「うなりくん」の活用により積極的に各種イベントに参加するとともに、YouTubeによる情報発信などを行うことにより、観光PRの強化を図った。
観光PR事業 (観光プロモーション課)	H29	27,396,000	19,091,373	
	H30	25,911,000	26,335,925	
	R1	33,270,000		
0326 施策0501	H28	42,958,000	40,312,776	「成田伝統芸能まつり」を開催するとともに、「成田山開基1080年祭」、「NARITA花火大会」等、各観光関連団体が実施する事業に対し支援を行い、本市の観光振興と地域経済の活性化を図った。また、JR成田駅前に「成田からくり時計」の寄贈を受け、新たなランドマークとして活用を図った。
観光に関する経費 (観光プロモーション課)	H29	49,254,000	51,825,780	
	H30	55,886,000	62,928,508	
	R1	44,716,000		
1901 施策0401	H28	80,192,000	95,062,076	「成田市観光基本戦略」に沿った施策、計画事業の推進を図った。また、歌舞伎公演、歌舞伎講座、歌舞伎衣裳展、歌舞伎座地下木挽町観光プロモーションを開催するなど、市川海老蔵プロジェクトを展開し、歌舞伎を通じ日本の伝統芸能・文化と連動しながら「歌舞伎のまち成田」のブランド醸成を図り、成田の魅力を発信した。
成田ブランド推進戦略事業(再掲) (観光プロモーション課)	H29	80,220,000	79,205,624	
	H30	88,143,000	90,725,283	
	R1	87,998,000		

主要事業執行状況(基本目標順)

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

5-1 地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり

5-1-2 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する

【4年間の取組方針】

観光客が快適に過ごせるような観光施設の整備を進めます。また、外国人が気軽に訪れることのできる受入れ環境を整備し、訪日外国人旅行者の「来成」を促進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
外国人宿泊者数	観光プロモーション課	122万人	175万人	193万人	200万人	172万人	172万人
成田国際空港ビジット・ジャパン 案内所利用者数	観光プロモーション課	239,077人	268,073人	332,973人	410,900人	255,000人	270,000人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1929	施策0501	H28	20,370,000	25,006,742	空港とその周辺地域の自然環境を活用した桜と空による交流の場「さくらの山」について、指定管理者による民間のノウハウを活用し管理運営を行うとともに、観光情報の発信と地域経済の活性化を図った。
さくらの山管理事業 (観光プロモーション課)		H29	26,100,000	32,417,508	
		H30	24,476,000	30,142,356	
		R1	30,415,000		
1799	施策0501	H28	10,955,000	7,703,796	市内ホテルを中心に各種コンベンションを誘致するとともに、直行便就航による来日者数が拡大しているベトナムにおいて、「ダナン越日文化交流フェスティバル」及び「千葉県主催ベトナム商談会」に参加し、本市のプロモーションを行った。
国際観光振興事業 (観光プロモーション課)		H29	10,955,000	8,641,972	
		H30	11,818,000	6,882,116	
		R1	10,573,000		
1901	施策0401	H28	80,192,000	95,062,076	「成田市観光基本戦略」に沿った施策、計画事業の推進を図った。また、歌舞伎公演、歌舞伎講座、歌舞伎衣裳展、歌舞伎座地下木挽町観光プロモーションを開催するなど、市川海老蔵プロジェクトを展開し、歌舞伎を通じ日本の伝統芸能・文化と連動しながら「歌舞伎のまち成田」のブランド醸成を図り、成田の魅力を発信した。
成田ブランド推進戦略事業(再掲) (観光プロモーション課)		H29	80,220,000	79,205,624	
		H30	88,143,000	90,725,283	
		R1	87,998,000		

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

5-2 元気な農林水産業を育むまちづくり

5-2-1 豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ

【4年間の取組方針】

優良農地を保全し、農業基盤の整備を実施していくとともに、農地や森林の多面的な機能の維持や印旛沼の漁業資源の確保など、農林水産資源の維持管理に対する取組みを継続的に支援します。また、「都市農村交流」などによる農村振興を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
農道・排水路整備率	農政課	農道 65.0% 排水路 81.1%	農道 66.5% 排水路 81.8%	農道 67.1% 排水路 82.1%	農道 67.9% 排水路 82.3%	農道 70.0% 排水路 83.0%	農道 78.0% 排水路 85.0%
森林保全管理実施面積	農政課	7.0ha	13.7ha	13.3ha	13.7ha	8.2ha	8.2ha
農業イベント参加者数	農政課	5,200人	2,632人	2,204人	2,984人	5,500人	5,500人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1550 施策0502	H28	118,391,000	112,356,417	土地改良区の健全な運営と事業の推進を図ることにより、農地保全と農業基盤整備を推進するため、土地改良事業及び排水施設の維持管理事業等に係る経費を助成した。
土地改良区振興事業 (農政課)	H29	128,361,000	106,345,409	
	H30	112,405,000	117,324,464	
	R1	103,457,000		
1856 施策0502	H28	35,898,000	35,472,862	農地等の多面的な機能の保全活動として、農道や水路などの施設の日常点検をはじめ、水路の泥上げ、農道の路面維持等の他、農道の舗装や水路の更新など、施設の長寿命化のための取り組みに対し、交付金を交付した。
農地・水保全管理事業 (農政課)	H29	35,898,000	55,538,197	
	H30	69,279,000	61,979,863	
	R1	86,232,000		
1567 施策0502	H28	1,666,000	1,565,520	丸の内行幸地下通路で開催された青空市場「丸の内行幸マルシェ」において、市農産物配布によるPR事業を実施した。
都市・農村交流促進事業 (農政課)	H29	0	632,400	
	H30	600,000	54,000	
	R1	1,517,000		

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

5-2 元気な農林水産業を育むまちづくり

5-2-2 安定した農業経営を支援する

【4年間の取組方針】

農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化を促進し、担い手農家の確保・育成と耕作放棄地の解消に向け、農業関係機関・団体が一体となった活動の推進を図ります。また、安定生産や経営の効率化、生産性の向上を目指す取組みを支援し、農産物のブランド化や畜産振興など、各分野を継続的に支援することで、魅力ある農業を実現し、農業振興を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
担い手農家への農地集積率	農政課	35.8%	39.1%	35.1%	33.6%	44.0%	57.3%
新規就農者数(H28～延べ数)	農政課	—(H28～)	13人	25人	36人	80人	240人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1896 施策0502	H28	21,750,000	11,250,000	持続可能な力強い農業の実現に向けて、青年新規就農者などの次世代を担う農業者を支援するため、農業次世代投資事業経営開始型を活用し、新規就農者6人分(夫婦型3組6人)に対して資金の交付を行った。
新規就農者支援事業 (農政課)	H29	21,000,000	8,062,500	
	H30	24,750,000	8,093,300	
	R1	25,500,000		
1964 施策0502	H28	26,527,000	7,211,700	農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた地域や農地の出し手に対して貸付割合・貸付面積に応じた協力金を交付した。 (地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金)
農地集積・集約化対策事業 (農政課)	H29	14,939,000	5,934,400	
	H30	22,417,000	4,972,000	
	R1	11,527,000		
1798 施策0502	H28	8,041,000	7,616,865	家畜の伝染病を予防し、安心して畜産経営を維持できる環境を整えるため、薬剤配布、家畜に対する予防接種を実施するとともに、生産者団体の運営費や家畜改良経費等に対する補助を行った。
畜産振興事業 (農政課)	H29	8,480,000	7,266,204	
	H30	7,789,000	6,886,624	
	R1	7,779,000		

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

5-3 商工業が活力をもたらすまちづくり

5-3-1 商工業の活性化を図る

【4年間の取組方針】

地域経済の活性化と雇用の創出において大きな役割を果たす中小企業の経営の安定・強化を支援するとともに、企業誘致を促進します。また、輸出拠点化を踏まえた卸売市場の再整備に向けた検討を行います。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
中小企業資金融資件数	商工課	340件	212件	219件	187件	350件	360件
新規企業誘致件数 (H28～延べ数)	商工課	—(H28～)	1件	1件	1件	8件	15件
新規起業件数	商工課	12件	19件	20件	24件	17件	17件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0303 施策0503	H28	1,302,812,000	1,297,190,669	中小企業者や新たに事業を行おうとする創業者に対し、中小企業信用保険法及び千葉県信用保証協会の信用保証に基づき、金融機関から資金の融資を行うとともに、制度を利用し融資を受けた中小企業者に対し、利子補給を行った。また、日本政策金融公庫から融資を受けた中小企業者に対して、利子補給を行った。
中小企業資金融資事業 (商工課)	H29	1,303,783,000	1,286,567,328	
	H30	1,304,082,000	1,277,265,558	
	R1	1,282,195,000		
2022 施策0503	H28	0	5,000,000	市内中小企業の経営者や人事担当者を対象とした採用等について学ぶ人事セミナーを開催するとともに、企業と県内外の学生等の若者との雇用のマッチングイベントを開催することにより、市内中小企業における若手人材の確保を支援した。
中小企業若手人材確保 支援事業 (商工課)	H29	5,000,000	4,999,998	
	H30	5,000,000	4,999,998	
	R1	5,000,000		
1203 施策0503	H28	44,457,000	35,063,800	市内に進出する企業に対して奨励措置を講じることにより、産業の振興及び雇用の創出を図るため、投資型の奨励金として1社に対し、固定資産税納税相当額を交付した。〔投資型〕市内に工場又は事務所を新たに設置する企業〕
企業誘致事業 (商工課)	H29	25,050,000	16,263,600	
	H30	5,944,000	5,668,000	
	R1	5,000,000		
0736 施策0503	H28	13,558,000	14,407,021	農水産物の輸出拠点機能等を有する「新生成田市場」の整備に向けて、既存施設の解体工事を行い、造成及び調整池築造等の工事に着手するとともに、高機能物流棟及び集客施設棟の入居事業者の公募を実施した。また、市場内外の関係事業者に対する市場への参画の可能性についての調査を実施した。
施設整備事業 (卸売市場)	H29	922,552,000	565,075,846	
	H30	4,587,195,000	251,325,910	
	R1	10,196,540,000		

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

5-3 商工業が活力をもたらすまちづくり

5-3-2 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える

【4年間の取組方針】

求職者に対する就業機会の拡大と就業技術の向上のために必要な知識・技術の習得支援を促進します。また、関係機関と連携を図りながら、就業情報を迅速に提供するとともに、働きたいと考えている市民が就業しやすい環境の整備とその支援を推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
資格取得講習会受講者の資格取得率	商工課	95.2%	100%	82%	89%	100%	100%
求人情報システムによる雇用創出数(H28～延べ数)	商工課	—(H28～)	13件	24件	38件	80件	240件
マザーズコーナー利用者の就職件数(H28～延べ数)	商工課	—(H28～)	152件	322件	468件	520件	1,560件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0289	施策0503	H28	8,400,000	7,787,955	高年齢者や障がい者、母子家庭の母等の比較的就職が困難な人の雇用機会の拡大を図るため、対象者を雇用した事業主に対して、その賃金の一部を奨励金として交付した。(23事業所(延べ45人分))
雇用促進奨励金交付事業 (商工課)		H29	8,400,000	7,459,000	
		H30	8,400,000	5,253,000	
		R1	7,459,000		

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-1 市民が参加する協働のまちづくり

6-1-1 人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる

【4年間の取組方針】

男女共同参画社会の実現に向け、男女が共に参画できる社会環境の整備を推進します。また、人権教室など様々な啓発機会を設け、人権の啓発活動に努めます。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
男女共同参画講座参加人数	市民協働課	360人	342人	345人	425人	500人	500人
女性のための相談件数	市民協働課	121件	173人	193人	177件	150件	170件
人権教室の開催回数	市民協働課	6回	4回	6回	4回	8回	8回

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1960	施策0601	H28	3,135,000	2,949,733	男女共同参画社会の形成を促進するため、市民の男女共同参画に関する自主的な学習及び活動の場の提供、及び情報発信を行う施設として、男女共同参画センターの運営を行った。
男女共同参画センター運営事業 (市民協働課)		H29	2,835,000	2,761,466	
		H30	2,797,000	2,828,367	
		R1	2,809,000		

主要事業執行状況(基本目標順)

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-1 市民が参加する協働のまちづくり

6-1-2 コミュニティ活動を活性化する

【4年間の取組方針】

地域コミュニティの活性化を図るため、誰もがそれぞれの立場で参加し、様々な主体が役割を発揮できるような、地域の特性にあったコミュニティづくりの環境を整えるための支援を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
自治組織への加入率	市民協働課	55.3%	52.9%	51.7%	50.6%	58.0%	62.0%
コミュニティセンターの利用率 (公津の杜、三里塚)	市民協働課	公津の杜 38.2% 三里塚 13.4%	公津の杜 46.1% 三里塚 9.0%	公津の杜 46.7% 三里塚 11.7%	公津の杜 50.0% 三里塚 15.0%	公津の杜 40.0% 三里塚 20.0%	公津の杜 45.0% 三里塚 30.0%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0130 施策0601	H28	38,140,000	34,818,280	地域団体が実施したコミュニティ活動に対し補助を行うことにより、コミュニティ活動の促進を図るとともに、地域活動団体が活動中に起きた事故などに対して住民活動総合災害補償制度に基づく補償を行った。
地域コミュニティ推進事業 (市民協働課)	H29	38,174,000	35,322,203	
	H30	38,517,000	49,404,910	
	R1	38,371,000		
2032 施策0601	H28	88,731,000	87,631,958	地域住民が主体となる様々な地域活動や住民の相互交流の場として、公津の杜コミュニティセンター及び三里塚コミュニティセンターにおいて、指定管理者による企画事業等を実施するとともに、施設の適正な管理運営を行った。
コミュニティセンター管理 運営事業 (市民協働課)	H29	90,603,000	86,172,780	
	H30	84,495,000	84,493,687	
	R1	85,551,000		
2050 施策0601	H28	-	-	地域社会における福祉の増進を図るため、市民の地域活動の支援及び地域コミュニティの醸成並びに市民の健康づくりに資する施設として、「中郷ふるさと交流館」を整備した。
中郷小学校跡地整備事業 (市民協働課)	H29	-	-	
	H30	245,783,000	208,103,825	
	R1	0		

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-1 市民が参加する協働のまちづくり

6-1-3 市民との協働の仕組みをつくる

【4年間の取組方針】

「成田市協働推進の基本指針」に基づいて、市民協働の意識の醸成を図るとともに、様々な市民活動団体などが連携・参加して、地域課題の解決に向け話し合うための場づくりを支援するなど、市民協働のための取組みを推進します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
市民活動団体数	市民協働課	333団体	337団体	334団体	331団体	340団体	360団体
市民参加型ワークショップ参加者数	企画政策課	93人	371人	325人	43人	130人	210人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1851 施策0601	H28	200,000	100,000	市民の協働に関する意識の醸成を図るため、協働活動の事例を紹介するパンフレットの配布を行うなどの啓発に努めるとともに、市職員を対象とした市民協働研修を実施した。
市民協働推進事業 (市民協働課)	H29	481,000	100,000	
	H30	481,000	198,280	
	R1	201,000		
1987 施策0601	H28	992,000	369,350	総合計画「NARITAみらいプラン」第2期基本計画の策定にあたり、市民等の意見を計画に反映させるため、国際医療福祉大学及び生涯大学院の学生を対象に「今後の成田市のまちづくりについて考える」をテーマとしたワークショップを実施した。
市民参画推進事業 (企画政策課)	H29	992,000	0	
	H30	952,000	4,012	
	R1	856,000		

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-2 経営的な視点に立った効率的なまちづくり

6-2-1 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る

【4年間の取組方針】

市民満足度調査や職員人材の確保・育成により、複雑化・多様化する市民ニーズや市民の意向の把握に努め、必要とされる行政サービスの提供につなげます。また、行政と議会との円滑な連携を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
市民満足度率(5段階評価)	企画政策課	3.18	3.73	3.79	3.55	3.50	4.50
職員研修受講率	人事課	92.0%	119.8%	102.4%	97.7%	95.0%	95.0%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

	年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
1188 施策0602	H28	5,168,000	5,114,000	市民2,000人を対象とした「市民満足度調査」を実施し、施策に対する満足度および重要度施策の方向性を検討する上での重要な基礎データとして活用するとともに、563の事務事業に貢献度(重要度)の順位付けをし、施策への貢献度を評価の尺度とする施策評価を中心とする実践的な行政評価を実施した。
行政評価事業 (企画政策課)	H29	2,792,000	2,743,000	
	H30	2,700,000	2,754,308	
	R1	2,804,000		
0034 施策0602	H28	21,580,000	18,545,972	自治体職員として必要な知識や技能の習得、勤務態度の養成など、職員の資質向上を図るための研修を実施したほか、新たに「再任用職員研修」を開催するなどして研修内容の充実を図った。
職員研修事業 (人事課)	H29	22,323,000	18,555,528	
	H30	21,602,000	13,253,879	
	R1	16,591,000		

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-2 経営的な視点に立った効率的なまちづくり

6-2-2 効率的・効果的な行政運営に努める

【4年間の取組方針】

健全な財政運営のため、優先度や緊急度を見極め、選択と集中を行うことで、限られた財源を効率的に配分します。また、公民連携を進めるとともに、公共施設の総合的な管理を体系化して、有効利用を図ります。さらには、総合窓口を引き続き実施するなど、充実した窓口サービスを提供します。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
経常収支比率	財政課	81.8%	83.0%	82.3%	84.3%	85.0%	85.0%
指定管理者制度導入施設の割合	行政管理課	45.1%	51.1%	50.4%	50.2%	52.2%	55.6%

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0016	施策0602	H28	351,000	781,184	「行政改革推進計画(平成28～30年度)」の実施状況等の報告を行うとともに、これらを踏まえて「行政改革推進計画(令和1～3年度)」の策定を行った。
行政改革推進事業 (行政管理課)		H29	193,000	102,706	
		H30	193,000	162,590	
		R1	192,000		
1898	施策0602	H28	9,657,000	9,686,055	マイナンバーカード等を活用し、住民票、印鑑証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票をコンビニエンスストアなどのマルチコピー機で交付を行った。
証明書コンビニ交付事業 (市民課)		H29	12,625,000	10,109,531	
		H30	9,779,000	10,670,099	
		R1	11,434,000		
1999	施策0602	H28	718,000	7,509,926	一般旅券の発給申請者の利便性向上のため、収入印紙及び千葉県収入証紙を市役所窓口で販売するとともに、旅券の申請の受理及び交付等を行った。
旅券発給事務申請交付事業 (市民課)		H29	38,000	24,728	
		H30	28,000	3,080,908	
		R1	3,053,000		

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-2 経営的な視点に立った効率的なまちづくり

6-2-3 情報の共有化によるまちづくりを推進する

【4年間の取組方針】

個人番号カードを含めたマイナンバー制度の利活用により行政事務の効率化・高度化を図ります。また、広く情報を発信し、市民の声を集めるため、必要な情報コンテンツを最適な手段により提供できる仕組みを構築します。さらに、分かりやすい広報紙や見やすいホームページづくりなどに努め、市の情報の利用しやすさの向上を図ります。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
市ホームページのアクセス数	広報課	510,647件	512,483件	538,777件	498,461件	580,000件	600,000件
市政モニター登録者数	市民協働課	318人	614人	752人	904人	1,000人	3,000人

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0030	施策0602	H28	5,551,000	5,451,200	ホームページを通して、行政情報や観光情報などを提供し、迅速な情報発信・更新を行うとともに、フェイスブックなどのSNSを活用し、市内のイベントや地域の行事などの情報を発信した。
インターネット広報事業 (広報課)		H29	25,551,000	21,245,160	
		H30	9,479,000	4,495,400	
		R1	4,587,000		
1965	施策0602	H28	2,392,000	2,367,742	モニター登録をした市民等を対象にインターネットを利用したアンケート調査を実施し、市の施策や各事業に関する市民等の意識を把握するとともに、市政運営の基礎資料として活用を図った。
市政モニター事業 (市民協働課)		H29	2,392,000	2,125,683	
		H30	2,469,000	2,155,057	
		R1	2,468,000		
1980	施策0602	H28	11,000,000	10,370,000	騒音地域においてケーブルテレビで放送される行政情報等を視聴可能とし、地域間の情報格差の是正を図るため、事業主体である成田ケーブルテレビ株式会社が実施する施設整備費の一部を補助した。
ケーブルテレビ視聴エリア 拡大事業 (行政管理課)		H29	173,090,000	172,967,000	
		H30	136,450,000	139,410,000	
		R1	111,451,000		

第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

6-2 経営的な視点に立った効率的なまちづくり

6-2-4 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める

【4年間の取組方針】

印旛郡市や空港周辺などの近隣自治体との連携に取り組み、効率的・効果的な行政運営と地域の活性化を図ります。そのため、一部事務組合などに加入し、広域的な共同事務処理を行うとともに、空港周辺自治体全体の均衡ある発展を目指し、成田国際空港の機能強化に向けた勉強会の開催などを行います。

【まちづくり指標】

指標名	担当課	H26(2014) 実績値	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R1(2019) 目標値	R9(2027) 目標値
一部事務組合などへの加入件数	企画政策課	5件	5件	5件	5件	5件	5件

主要事業執行状況

※各年度の計画額は、それぞれ第1次～第4次実施計画における計画額です。
(H28(第1次)、H29(第2次)、H30(第3次)、R1(第4次))

(単位:円)

		年度	計画額	決算額	H30(2018) 事業内容
0014	施策0602	H28	18,407,000	18,407,000	構成市町の共通する事務の一部(採用試験、研修等)の共同処理により、市民サービスの質の向上や事務の効率化を図るため、印旛郡市広域市町村圏事務組合に対し運営費の一部を負担した。
印旛郡市広域市町村圏 事務組合一般事業 (企画政策課)		H29	18,407,000	18,371,000	
		H30	18,371,000	18,137,000	
		R1	18,137,000		